

科目名	HST310: 東洋研究					担当教員	玉置 真紀子	
開講期	春	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び 学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	アジア基層文化、交易、先住民族、植民地化、開発、児童労働、マイクロファイナンス							
授業の 概要	西洋から見た「東洋」の自然環境、歴史、宗教、文化、社会を学び、その文化的重層性と多様性を理解する。国際社会の中で、その人口規模からも経済的にも東南アジアの重要性は増している。開発が進むなかで生きる人々の生活を知り、その知恵を学ぶ。同時に、発展の陰で取り残される女性や子どもたちの生活に目を向け、現代社会における数々の課題の原因をふまえ、解決方法を探る。							
達成目標	東南アジアの歴史と社会を理解し、そこに生きる人々の視点を獲得することで、遠い他者を身近な隣人として考えることができるようになることを目標とする。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジアの基層文化と多様性を理解する。</li> <li>・人々の日常生活と経済活動を説明できる。</li> <li>・開発・発展に伴う貧困や児童労働などの問題群の原因を説明し、課題解決のための提案ができるようになる。</li> <li>・東南アジア社会を考えることは日本社会を考えることであり、自身の生活に生かせるようになる。</li> </ul>							
評価方法	初回、最終回、2回の授業内試験を除いた26回の講義において提出するリアクションペーパーを2%×26回=52%とする。2回の授業内試験は、毎回配布するハンドアウト、資料、自筆ノート持ち込み可とし、24%×2回=48%とする。							
評価基準	<p>リアクションペーパー：授業内容を理解した上で、質問に対して①テーマを設定し、論理的に説明すること、②具体的に記述すること、を求める。これができるいれば2点とする。感想のみの場合は1点となる。</p> <p>授業内試験：問題に対して①テーマを設定し、論理的に説明すること、②課題解決型の問題の場合は、具体的な解決策を提案すること、③自分の経験に引き寄せて検討すること、を求める。感想のみの場合は減点対象とする。</p>							
準備学修 の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	講義の概要説明、東洋と東南アジアについて	講義、質疑応答	東南アジア各国の位置と成り立ちを確認する。
2	東南アジアの自然環境	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp. 16-23 を読む
3	東南アジアの基層文化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp. 24-36 を読む
4	東南アジアの歴史と社会 (1) インド化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp. 47-54 を読む
5	東南アジアの歴史と社会 (2) 交易の時代から植民地化へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp. 55-72 を読む
6	東南アジアの歴史と社会 (3) 脱植民地化から国民国家形成へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp. 73-79 を読む
7	東南アジアの居住空間ー都市と農村	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	テキスト pp. 130-136 を読む
8	人びとは何を食べてきたかーコメの歴史と棚田のテクノロジー	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	テキスト pp. 137-150, pp. 297-303 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	東南アジアの家族観—結婚、家族、親族、子どもの成長、ジェンダー	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp. 173-179 を読む
10	現代東南アジアにおける貧困とは—貧困の基準と実態	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
11	児童労働とは (1) 子どもの権利条約	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
12	児童労働とは (2) 児童労働の実態	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
13	児童労働とは (3) 子ども兵士という衝撃	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
14	児童労働とは (4) 課題解決に向けて	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
15	東南アジアにおける児童労働のまとめ、授業内試験	講義、質疑応答、試験(50分)	1~14回の講義を復習する
16	先住民と呼ばれる人々 大陸部東南アジア・島嶼部東南アジア	講義、試験返却、および解説	テキスト pp. 259-275 を読む
17	現代東南アジア史におけるキーパーソン	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp. 366-412 を読む
18	東南アジアの宗教 (1) 仏教、ヒンズー教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp. 152-157, pp. 166-172 を読む
19	東南アジアの宗教 (2) イスラム教、キリスト教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp. 158-165 を読む
20	マイクロファイナンスを学ぶ (1) マイクロファイナンスの成立と背景	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
21	マイクロファイナンスを学ぶ (2) マイクロファイナンス機関と実践	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
22	マイクロファイナンスを学ぶ (3) 課題と解決に向けて	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
23	移住/移民労働者 (1) 海外出稼ぎという選択	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
24	移住/移民労働者 (2) 残された家族の生活	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
25	日本で働く東南アジアの人々 (1) 送り出し国側の問題	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
26	日本で働く東南アジアの人々 (2) 受け入れ国側の問題	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
27	東南アジアにおける経済と労働問題のまとめ、授業内試験	講義、質疑応答、試験(50分)	16~26回の講義を復習する
28	東洋を再考する	講義、試験返却、および解説	講義の振り返り
29	東南アジアの表象文化 (1) 文学、美術	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp. 196-201, pp. 241-249 を読む
30	東南アジアの表象文化 (2) 演劇、映画	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp. 205-213, pp. 226-233 を読む

テキスト	今井昭夫編『東南アジアを知るための50章』(明石書店)
参考書	①大野拓司・寺田勇文編著『現代フィリピンを知るための61章【第2版】』(明石書店) ②清水一史・田村慶子・横山豪志編著『東南アジア現代政治入門』(ミネルヴァ書房)
その他 特記事項	受講者にとって初めて聞く・見ることばかりの内容になると思います。好奇心を持って臨んで下さい。質問はリアクションペーパーに記入すれば、次回返答致します。

科目名	HST302: 西洋研究					担当教員	森下 園	
開講期	春	開講時限	月木2限	研究室	4202	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	教会史、女性史							
授業の概要	キリスト教文化を理解するため、古代ローマ帝国時代から第二バチカン公会議までのヨーロッパの教会史を概観する。ヨーロッパが中心となるがアメリカ、日本についても一部取り上げる。							
達成目標	ヨーロッパの歴史と不可分であるキリスト教の歴史を学び、その歴史的意義や文化への影響力について理解し、自分の言葉で説明できるようにすることが目標である。							
到達目標	①次回授業プリントを事前に読んで事典類で用語を調べることで予習する習慣をつけ、授業後に授業課題を書くことで授業内容を理解できるようになる。 ②重要な変化・出来事・人物・考え方などについて、2回の授業内試験に答えることで自分の言葉で説明できるようになる。							
評価方法	①授業課題：2%×24回＝48%（Moodleで提出） ②授業内試験：26%×2回＝52%（ペン書き、論述式）							
評価基準	①授業課題：授業内容を正しく理解しているか ②授業内試験：授業で扱った事象について、理解していることを自分の言葉でまとめた文章として書けるか							
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	はじめにーキリスト教とヨーロッパ史	講義、質疑応答	キリスト教の起源について調べる。
2	ローマ帝国時代（1）迫害の時代	講義、質疑応答	Moodleに登録、授業の復習 第3回授業プリントの予習
3	ローマ帝国時代（2）教父の時代	講義、質疑応答	授業の復習 第4回授業プリントの予習
4	イングランドへの布教	講義、質疑応答	第4回授業課題 第5回授業プリントの予習
5	シャルルマーニュの戴冠	講義、質疑応答	第5回授業課題 第6回授業プリントの予習
6	神聖ローマ帝国とフランク王国	講義、質疑応答	第6回授業課題 第7回授業プリントの予習
7	ビザンツ帝国と東方教会	講義、質疑応答	第7回授業課題 第8回授業プリントの予習
8	西方修道制	講義、質疑応答	第8回授業課題 第9回授業プリントの予習
9	中世芸術	講義、質疑応答	第9回授業課題 第10回授業プリントの予習
10	グレゴリウス改革と聖職叙任権闘争	講義、質疑応答	第10回授業課題 第11回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	新しい修道制	講義、質疑応答	第11回授業課題 第12回授業プリントの予習
12	中世の大聖堂建築	講義、質疑応答	第12回授業課題 第13回授業プリントの予習
13	十字軍と巡礼	講義、質疑応答	第13回授業課題 試験準備
14	12世紀ルネッサンス 第1回授業内試験	講義、質疑応答	試験準備 第15回授業プリントの予習
15	修道院学校・教会学校・大学へ	講義、質疑応答	第15回授業課題 第16回授業プリントの予習
16	異端審問と托鉢修道会	講義、質疑応答	第16回授業課題 第17回授業プリントの予習
17	神秘霊性と隠修女ノーリッジのジュリアン	講義、質疑応答	第17回授業課題 第18回授業プリントの予習
18	百年戦争とジャンヌ・ダルク	講義、質疑応答	第18回授業課題 第19回授業プリントの予習
19	中世の聖女たち 第1回授業内試験返却と講評	講義、質疑応答	第19回授業課題 第20回授業プリントの予習
20	魔女狩り	講義、質疑応答	第20回授業課題 第21回授業プリントの予習
21	中世女性の結婚や職業	講義、質疑応答	第21回授業課題 第22回授業プリントの予習
22	宗教改革と教会改革	講義、質疑応答	第22回授業課題 第23回授業プリントの予習
23	アメリカのキリスト教(1) ピューリタンとカトリック	講義、質疑応答	第23回授業課題 第24回授業プリントの予習
24	アメリカのキリスト教(2) 独立後の諸教会	講義、質疑応答	第24回授業課題 第25回授業プリントの予習
25	トリエント公会議後の教会改革とイエズス会の世界伝道	講義、質疑応答	第25回授業課題 第26回授業プリントの予習
26	日本の隠れキリシタンについて	講義、質疑応答	第26回授業課題 試験準備
27	修道会による女子教育機関の設立 第2回授業内試験	講義、質疑応答	試験準備 第28回授業プリントの予習
28	近代の教会と世界大戦	講義、質疑応答	第28回授業課題 第29回授業プリントの予習
29	第二バチカン公会議とエキュメニズム	講義、質疑応答	第29回授業課題 これまでの復習
30	終わりに —キリスト教文化について 第2回授業内試験返却と講評	講義、質疑応答	これまでの復習

テキスト	なし、授業内容に関するプリントを Moodle で配布
参考書	アラン・コルバン編、浜名優実監訳『キリスト教の歴史』(藤原書店) 森本あんり『アメリカ・キリスト教史』(新教出版社)

科目名	JPN311: 日本文化					担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4202	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	日本史、日本文化、自己イメージと他者イメージ							
授業の概要	「日本らしい文化」「日本人らしさ」とはどのような経緯を経て作り出されてきたのか、日本史を踏まえながら見ていく。特に近世以降の理解に重点を置く。主に「日本民族」の自己及び他者イメージ、日本王権論、宗教、芸能、メディア文化、家族、他国との交流、言語、ポップカルチャーについて、英文資料も使いながら取り上げる。							
達成目標	日本の文化・歴史について問われた時に、専門的なレベルで答え、あるいは議論できるようにすることが目標である。							
到達目標	高校の日本史レベルの内容を頭に入れた上で、講義で扱う概念・用語・事例を理解し、自分の言葉で説明できるようにする。①そのため、講義前にその時代の主な出来事について予習を行い、多角的な視点を持つために意見交換を行い、授業終了時に授業内容について出された課題の解答をMoodleで提出する。②また特に関心のあるトピックについて、参考文献を読み、まとまった文章で論述できるようにする。							
評価方法	①Moodle提出の課題(約400字)が3%×20回=60% ②2,000~3,000字の期末レポートが40%の計100%となる。							
評価基準	①授業課題: 要点を整理して自分の言葉でまとめているか、提出期限を守っているか。なお欠席した回の課題は採点対象にならない。研究倫理違反は0点となる。 ②レポート: 適切なテーマで適切な参考文献を使用・引用し、定められた書式・字数で期日までに提出しているか。研究倫理違反は0点となる。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	はじめにー「日本文化」とは何か Moodleの使い方について	講義、質疑応答、意見交換	自分が思う「日本文化」について、箇条書きにする
2	「日本人」の定義(1)旧石器遺跡捏造事件	講義、質疑応答、意見交換	Moodleに書き込み 第3回授業プリントの予習
3	「日本人」の定義(2)人類学者の学説変遷	講義、質疑応答、意見交換	第3回授業課題 第4回授業プリントの予習
4	「日本人」の定義(3)植民地政策にあらわれ るゆらぎ	講義、質疑応答、意見交換	第4回授業課題 第5回授業プリントの予習
5	「日本」のイメージ(1)第二次世界大戦中の 自己イメージと他者イメージ	講義、質疑応答、意見交換	第5回授業課題 第6回授業プリントの予習
6	「日本」のイメージ(2)高度経済成長と「電 子立国」	講義、質疑応答、意見交換	第6回授業課題 第7回授業プリントの予習
7	「日本」のイメージ(3)先進国のなかの位置 付け	講義、質疑応答、意見交換	第7回授業課題 第8回授業プリントの予習
8	日本の王権論(1)古代	講義、質疑応答、意見交換	第8回授業課題 第9回授業プリントの予習
9	日本の王権論(2)天皇と将軍の関係	講義、質疑応答、意見交換	第9回授業課題 第10回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	日本の王権論(3) 異形の王権	講義、質疑応答、意見交換	第10回授業課題 第11回授業プリントの予習
11	日本の王権論(4) 明治以降の天皇制	講義、質疑応答、意見交換	第11回授業課題 第12回授業プリントの予習
12	日本の宗教(1) 神仏習合	講義、質疑応答、意見交換	第12回授業課題 第13回授業プリントの予習
13	日本の宗教(2) キリシタンとキリスト教	講義、質疑応答、意見交換	第13回授業課題 第14回授業プリントの予習
14	日本の宗教(3) 江戸時代の宗教・明治の宗教	講義、質疑応答、意見交換	第14回授業課題 第15回授業プリントの予習
15	日本の芸能(1) 源氏物語 レポートの説明	講義、質疑応答、意見交換	第15回授業課題 第16回授業プリントの予習
16	日本の芸能(2) 琵琶法師 レポートの説明	講義、質疑応答、意見交換	第16回授業課題 第17回授業プリントの予習
17	日本の芸能(3) 能と歌舞伎	講義、質疑応答、意見交換	第17回授業課題 第18回授業プリントの予習
18	日本の芸能(4) 書物・浮世絵・料理	講義、質疑応答、意見交換	第19回授業プリントの予習 レポート作成準備
19	日本の家族観(1) 江戸時代の婚姻・離婚	講義、質疑応答、意見交換	第20回授業プリントの予習 レポート作成準備
20	日本の家族観(2) 明治の教育と家族観の変化	講義、質疑応答、意見交換	第21回授業プリントの予習 レポート作成準備
21	他国との交流(1) 朝鮮半島との交流史	講義、質疑応答、意見交換	第22回授業プリントの予習 レポート作成準備
22	他国との交流(2) 日本を訪れた人々・日本から海外を訪ねた人々	講義、質疑応答、意見交換	第23回授業プリントの予習 レポート作成準備
23	他国との交流(3) 明治期の日本人留学生	講義、質疑応答、意見交換	第24回授業プリントの予習 レポート作成準備
24	言語 — 「標準語」と「方言」、「日本語」と「英語」	講義、質疑応答、レポート提出	第25回授業プリントの予習 レポート作成準備
25	戦争 — 太平洋戦争の終戦日をめぐる議論、レポート提出	講義、質疑応答、意見交換	第25回授業課題 第26回授業プリントの予習
26	メディア文化(1) 明治・大正時代のメディアと女性イメージ	講義、質疑応答、意見交換	第26回授業課題 第27回授業プリントの予習
27	メディア文化(2) ネットメディアの問題	講義、質疑応答、意見交換	第27回授業課題 第28回授業プリントの予習
28	ポップカルチャー(1) アニメとマンガ	講義、質疑応答、意見交換	第28回授業課題 第29回授業プリントの予習
29	ポップカルチャー(2) 少女文化	講義、質疑応答、意見交換	第29回授業課題
30	再び「日本文化」とは何か レポートの返却と解説	講義、意見交換 レポート返却	これまでの復習

テキスト	なし、授業内容に関するプリントを配布
参考書	網野善彦『日本とは何か 日本歴史00巻』(講談社)
その他特記事項	板書はしない方針である。

科目名	INT301: 国際関係論				担当教員	山本 和也		
開講期	春	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	戦争、平和、貧困、難民、国際問題、国家、NGO							
授業の概要	国際関係論は、主として近代から現代までの国際社会の特徴を分析する学問である。本講では、国際関係の歴史、平和に関する思想・哲学、戦争をめぐる諸問題、戦争以外のさまざまなグローバルな課題に大別して解説する。講義では、担当者からの解説に加えて、映像資料を用いることで、具体的な事例を通じた理解を図る。							
達成目標	近代以降の国際関係の基本的なしくみと現代国際社会の課題を理解する。それによって、グローバル化のなかで、私たちの日常が国際社会の影響をどのように受け、また反対に、私たちの何気ない行動が国際社会にどのようなインパクトを与えているかを認識する。							
到達目標	達成目標で示した「しくみ」「課題」「私たちとの関係」を、根拠に基づいて論理的に考察できるようになる。また、それまで自分とは無関係と思っていた国際社会の出来事に対しても、自身と関連付けて見られるようになる。							
評価方法	履修カード (25%)、講義内試験 (75%)							
評価基準	履修カード：講義内容を自身の言葉で要約・整理できているか。 講義内試験：講義内容を記述しているか。加えて論述問題では、自身の考えも述べているか。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	国際関係論とはどのような学問か?	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
2	国際関係の歴史(1): 主権国家とその体系の成立	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
3	国際関係の歴史(2): 近代世界システムの拡大	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
4	国際関係の歴史(3): 主権国家システムの変容とグローバル化	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
5	国際関係の歴史(4): 外交態様の変遷	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
6	国際関係の歴史(5): 文明論	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
7	講義内試験およびその解説	試験、解説	試験準備(第1-6回の内容理解)
8	平和の思想(1): 平和主義の諸類型	対話型講義、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
9	平和の思想(2): 義務論の平和論(1)	対話型講義、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
10	平和の思想(3): 義務論の平和論(2)	対話型講義、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
11	平和の思想(4): 目的論の平和論	対話型講義、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
12	講義内試験およびその解説	試験、解説	試験準備(第8-11回の内容理解)
13	武力紛争の諸課題(1): 伝統的安全保障	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
14	武力紛争の諸課題(2): 核抑止と不拡散	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
15	武力紛争の諸課題(3): 人間の安全保障	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
16	武力紛争の諸課題(4): 人道支援・人道的介入・平和構築	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
17	武力紛争の諸課題(5): 難民支援と国際機関	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
18	武力紛争の諸課題(6): 国連PKOの理念と現実	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
19	講義内試験およびその解説	試験、解説	試験準備(第13-18回の内容理解)
20	グローバルイシュー(1): 国際テロリズム	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
21	グローバルイシュー(2): ホームグロウンテロリズム	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
22	グローバルイシュー(3): 移民と多文化社会	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
23	グローバルイシュー(4): グローバルな経済格差	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
24	グローバルイシュー(5): 多面的問題としての水資源問題と市民の力	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
25	グローバルイシュー(6): 地球環境問題と国際協調	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
26	グローバルイシュー(7): 国際感染症問題への国際対応	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
27	グローバルイシュー(8): 国際災害ボランティアの役割	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
28	講義内試験およびその解説	試験、解説	試験準備(第20-27回の内容理解)
29	日本外交の軌跡と針路(1): 1945-1970年代	講義、質疑応答、履修ノート	自筆ノートと配布資料の復習
30	日本外交の軌跡と針路(2): 1980年代—現在	講義、質疑応答、履修ノート	自筆ノートと配布資料の復習

テキスト	講義内容の概略を示したレジюмеと法令文書をはじめとする一次資料などの関連資料を毎回配布する。
参考書	中西寛、石田淳、田所昌幸『国際政治学』(有斐閣、2013年) 山影進『国際関係論講義』(東京大学出版会、2012年)
その他特記事項	本講義では、高校までの授業とは異なり、皆さんが内容を聞きながら、それを瞬時に自らの言葉で整理してノートにまとめる能力を身に付けることを主眼としています。これは社会に出た後の会議や打ち合わせでは最も必要な能力ですので、集中して取り組んでください。

科目名	ANT200: 文化人類学					担当教員	C. Oliver	
開講期	秋	開講時限	火金1限	研究室	4205	オフィスアワー	P.16 を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP 及び 学修成果	DP 分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					3-④, 4-⑥	
キーワード	cultural anthropology, culture, fieldwork, understanding others, interview research							
授業の 概要	This course provides an introduction to cultural anthropology. Regular class sessions will consist of lectures, watching scenes from films, and discussions among students. Examples will come from many parts of the world, including Indonesia, Mexico, Papua New Guinea, Iran, North America, and sub-Saharan Africa. Each student will do an interview project (with a written report) and discuss the findings in class. All lectures, assignments, and tests will be in English.							
達成目標	This course will help students understand what cultural anthropologists study and how they study it. Students will also be able to develop their own research skills.							
到達目標	By the end of the semester, students should be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li>• understand key ways that anthropological study differs from that of other social sciences;</li> <li>• understand broadly the range of topics often studied in anthropology;</li> <li>• understand and explain the significance of key examples of those topics;</li> <li>• understand key anthropological concepts and apply them to cultural processes;</li> <li>• use careful observation and inference-making to gain cultural understanding;</li> <li>• ask good questions for doing qualitative, interview research.</li> </ul>							
評価方法	Participation 10%; Homework 30%; Interview Project, including written report 30%; Tests 30%.							
評価基準	Participation: Active participation in everyday class activities, including discussions. Homework: Submitted on time and completed thoroughly, shows adequate understanding and application of key concepts, demonstrates careful observation and inference-making. Interview Project: Each part submitted on time and according to instructions, demonstrates good interview research questions as well as careful observation and inference-making. Tests: Demonstrate understanding of how anthropological study differs from that of other social sciences, understanding of the range of topics studied in anthropology, understanding and ability to explain the significance of key examples, understanding and ability to apply key concepts, and careful observation and inference-making.							
準備学修 の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc. ).							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	What is cultural anthropology?	lecture	Review syllabus, read pp. 2 & 73-74
2	Culture: definitions and examples	lecture, pair work	Read pp. 34-41
3	Anthropological research: fieldwork	lecture, video, pair work	Read pp. 13, 21-24 (also skim pp. 1-12 for homework)
4	Anthropological research: dialogue	lecture, video, pair work	Complete homework about textbook authors' fieldwork
5	Doing qualitative interviews: the basics	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
6	Religion: general approach	lecture, video, pair work	Complete interview practice worksheet
7	Religion: "witchcraft" in Africa	lecture, pair work	Read pp. 123-125

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
8	Interview Project planning (interview project will be explained)	lecture, small-group discussion	Read handout about Interview Project
9	Ritual: general concepts	lecture, video, pair work	Complete HW about objective / subjective information
10	Ritual: what do rituals “do”?	lecture, video, pair work	Read pp. 123-125
11	Marriage and family: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 75-81, 86-87; complete HW about film
12	Marriage and family: cultural arrangements	lecture, pair work	Complete homework about marriage practices
13	Doing qualitative interviews: strategies for asking good questions	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
14	Gift-giving and exchange: general concepts	lecture, pair work	Complete interview practice worksheet
15	Gift-giving and exchange: <i>potlatch</i> (also: discuss Interview Project topics)	lecture, video, small-group discussion	Read pp. 109-112, 115-117; complete Interview Proj. topic
16	Gift-giving and exchange: <i>kula</i>	lecture, simulation (role-play)	Read pp. 109-112, 115-117
17	Culture and person / self: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 131-141
18	Culture and person / self: cultural variations	lecture, pair work	Complete worksheet on Ch. 8
19	Health, illness, and medicine: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 136-140
20	Health, illness, and medicine: culture-bound syndromes	lecture, pair work	Complete homework on culture-bound illnesses
21	Review, Test #1	lecture, test	Study for test
22	Social class: cultural dimensions	lecture, video, pair work	Read pp. 93, 103
23	Discuss Interview Project findings (based upon each student’s completed interview)	small-group discussion	Complete interview; prepare copy of actual interview notes
24	Identity: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
25	Identity: the importance of others	lecture, video, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
26	Nation and culture: what holds society together?; return Test #1 and go over results	lecture, pair work	Read pp. 63-64, 89-90, 96-100
27	Globalization and transnationalism: anthropological approaches	lecture, pair work	Read pp. 103-106; complete Interview Project report
28	Review, Test #2	lecture, test	Study for test
29	Watch film: “Children of Heaven” (making observations, forming inferences)	pair work, watch video while taking notes	Complete Fact Sheet on Iran
30	Discuss film: observations / inferences; return Test #2 and go over results	small-group discussion, lecture	Complete worksheet about the film

テキスト	J. Monaghan & P. Just. <i>Social &amp; Cultural Anthropology: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press).
参考書	H. Peters-Golden. <i>Culture Sketches: Case Studies in Anthropology</i> (McGraw-Hill).
その他特記事項	Lectures, assignments, and tests will be in English. Each student must do an Interview Project that requires finding a suitable person to interview and interviewing that person outside of class.

科目名	ART200: 現代美術					担当教員	G. Freddes	
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び 学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					3-④, 4-⑥	
キーワード	Romanticism, Japonisme, Modernism, Modern Art, Contemporary Art, Post-Modern Art							
授業の 概要	This course will explore developments in art from the 19 <sup>th</sup> to the 21 <sup>st</sup> Century. Each class will begin with a lecture and / or video on an artist, period, or style. This will be followed by readings pertaining to the lecture and discussion in small groups. Every class will conclude with students writing comments on class content and their online research. Students will be required to conduct research in areas of personal interest, visit two museums and submit two written reports in English.							
達成目標	Students will acquire a fundamental knowledge of major artists and art movements of the past 200 years. They will learn the vocabulary of art and various ways of looking at art by considering its formal characteristics, materials, and cultural / historical contexts. The course aims to support students in developing insights into how the rapidly changing modern world has affected individual artists and how they, in turn, have influenced and shaped the world in which we live.							
到達目標	By the end of this course students will be able to recognize many of the most important modern artists. They will be able to describe the works formal characteristics, materials, and possess some understanding of its cultural / historical significance. Ultimately, students will be able to enjoy visiting museums, viewing new works, and more confidently express personal opinions.							
評価方法	Participation and Written Reactions (40%), Midterm Report (25%), Final Report (35%)							
評価基準	Participation, Written Reactions (Note-taking during lecture, involvement in discussions and art-making activities, effort in answering all written reactions using vocabulary learned in class and expressing a personal opinion of the artworks seen in class, online research summary) Midterm Report (at least 600 words) Final Report (at least 800 words) Guidelines for both are the same. (1) Choose an artist of interest and research his / her life. Write the artist's biography. (2) Choose at least six works by the artist and, using vocabulary learned in class, describe the works in detail. Write a conclusion including what you learned about the artist. (3) Visit a museum and report on what you saw. Choose at least five works seen and write in detail about each of them, including materials, formal characteristics, the work's cultural / historical context, and a personal opinion.							
準備学修 の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc. ).							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Course Introduction. What is Modern Art? The Louvre, Orsay, and Beauborg Museums	Lecture, video, reading, writing, online sources	Read textbook pp. 66-71 Visit the three museum's websites
2	Introduction to the textbook, online resources, and art vocabulary	Lecture, video, note-taking skills, writing	Read text pp. 76-78 Review, View online sources
3	The Nineteenth Century: Birth of the "Isms" Neoclassicism and Romanticism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 74-75, 79-80 Review, Online research
4	Romanticism: Goya, Turner, Chopin, & Verdi	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 81-88 Review, Online research
5	Nineteenth Century Japan: Ukiyo-e, Hokusai	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 89-91 Review, Online research
6	The Industrial Revolution: Early modern architecture, Japonisme, Art Nouveau	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 92-95 Review, Online research
7	Birth of Photography: Inventors, Pioneers, Travel, War Documentary, Portrait, Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 96-103 Review, Online research

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
8	Impressionism: Manet, Monet	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 104-109 Review, Online research
9	Impressionism: Renoir, Degas, Cassatt, Morisot	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 110-113, 133 Review, Online research
10	Modern Sculpture: Rodin vs. Brancusi	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 114-115 Review, Online research
11	Post-Impressionism: Seurat, Lautrec	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 118-122 Review, Online research
12	Post Impressionism: Gauguin, Van Gogh	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Bring colored pencils, markers, and / or pastels to class
13	Van Gogh: “The Sunflowers”	Art making activity	Read text pp. 123-125 Review, Online research
14	Early Expressionism: Munch, Modersohn-Becker; Symbolism: Rousseau, Redon	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 128-133 Review, Online research
15	Fauvism: Matisse, Vlaminck, Derain, Dufy	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit Midterm Report, Bring scissors, glue, colored paper
16	Matisse cutouts: Create a class mural	Art making activity	Read text pp. 116-117, 136-138 Review, Online research
17	Cezanne, Picasso	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 139-145 Review, Online research
18	Futurism; Constructivism;	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 146-147 Review, Online research
19	Modernist Architecture: Le Corbusier	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text p. 148 Review, Online research
20	Dada: Duchamp, Arp, Schwitters	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 149-151 Review, Online research
21	Surrealism: Miro, Ernst, Dali, Magritte	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 152-153 Review, Online research
22	20 <sup>th</sup> Century Photography: Cartier-Bresson	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 158-163 Review, Online research
23	Figural and Abstract Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 172-176 Review, Online research
24	Pre-Pop and Pop Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 177-179 Review, Online research
25	Minimal, and Conceptual Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 188-189 Review, Online research
26	Neo-Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit Final Reports Read text pp. 190-193
27	Post-Modernism: Diversity	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text p. 194- end of text Review, Online research
28	Recent trends 1990-2000	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read handout, Review
29	Current trends 2001-2018	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit late Final Reports (will not be returned to you)
30	Course review	Lecture, slideshow, Course survey	Last chance to submit the Final Reports (not returned)

テキスト	Carol Strickland. <i>The Annotated Mona Lisa, Second Edition</i> (Andrews and Mc Meel).
参考書	<i>The Letters of Vincent van Gogh</i> The Museum of Modern Art: Online Collection
その他 特記事項	All lectures and student writing will be entirely in English. Videos: English / Bilingual / Japanese. And, as mentioned above, students must visit two museums and write two reports in English.

科目名	EDU302: 比較・国際教育学					担当教員	杉村 美佳	
開講期	春	開講時限	火金4限	研究室	4220	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	教育の国際比較、教育問題、教育制度、教育政策、開発と教育、グローバル化と教育							
授業の概要	先進国と途上国における教育の現状や課題について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて概観し、比較・国際教育学の基礎理論を理解する。さらに、今日的教育課題である多文化教育、シティズンシップ教育、開発教育や国際教育協力等のあり方を国際的視点から考察する。最後に教育の国際比較をテーマにグループでレジュメを作成し、プレゼンテーションを行う。							
達成目標	比較・国際教育学の基礎理論を理解し、日本と諸外国の教育の現状や課題について、歴史的、政治的、経済的、文化的背景と関連付けて考察し、国際的視野から教育問題の解決に向けた方策を論じられるようになることを目標とする。							
到達目標	①日本と諸外国の教育制度や教育政策、教育問題等について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて考察する力を身につけ、比較・国際教育学の基礎理論を習得する。 ②比較・国際教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、教育問題の解決に向けた方策を考察することができる。 ③各国の教育の現状や課題について、文献の内容をまとめてレジュメを作成し、効果的に発表し、議論することができる。							
評価方法	授業時に課すリアクションペーパー (30%)、レジュメ・プレゼンテーション (30%)、授業内試験 (40%)							
評価基準	リアクションペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 レジュメ：設定したテーマに即して参考文献の内容を的確にまとめ、教育事象を論理的、批判的に考察できているか。 プレゼンテーション：パワーポイントなど発表を効果的にする資料を準備し、研究内容をわかりやすく伝える工夫をしているか。 授業内試験：授業の内容を理解し、設問に対して正確に解答できているかを評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	比較教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布プリントの要約・考察
2	国際教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教育の国際組織を調べる 配布プリントの要約・考察
3	教育制度の国際比較(1) —就学率・識字率・児童労働—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	児童労働について調べる 配布プリントの要約・考察
4	教育制度の国際比較(2) —学校教育制度の類型—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	英文記事の和訳 配布プリントの要約・考察
5	教育制度の国際比較(3) —教育制度改革の焦点—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	配布記事の要約・考察 配布プリントの要約・考察
6	教育文化の国際比較	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料の要約・考察 配布プリントの要約・考察
7	先進国における学校化社会と学歴(1) —学校化社会と学歴社会—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	学歴社会について調べる 配布プリントの要約・考察
8	先進国における学校化社会と学歴(2) —ヨーロッパの非学歴社会—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布記事の要約・考察 配布プリントの要約・考察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	先進国における生涯学習社会	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配布記事の要約・考察 配布プリントの要約・考察
10	発展途上国における識字教育(1) —非識字者の分布と構成—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	識字教育について調べる 配布プリントの要約・考察
11	発展途上国における識字教育(2) —識字教育の取り組み—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	SDGs について調べる 配布プリントの要約・考察
12	先進国における国民統合と学校教育(1) —新自由主義的教育政策—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	新自由主義について調べる 配布プリントの要約・考察
13	先進国における国民統合と学校教育(2) —多文化共生教育—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料の要約・考察 配布プリントの要約・考察
14	多文化教育の国際比較	講義・ディスカッション リアクションペーパー	多文化教育について調べる 配布プリントの要約・考察
15	発展途上国における国民統合と学校教育 —マレーシアを中心に—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料の要約・考察 配布プリントの要約・考察
16	世界のシティズンシップ教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	市民教育について調べる 配布プリントの要約・考察
17	開発と教育(1) —開発教育—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	開発教育について調べる 配布レジュメの要約・考察
18	開発と教育(2) —国際教育協力—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	国際教育協力を調べる 配布レジュメの要約・考察
19	開発と教育(3) —JICA による国際教育協力の 実態—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	JICA について調べる 配布レジュメの要約・考察
20	欧米の自由教育	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	自由教育について調べる 配布レジュメの要約・考察
21	小括と授業内試験	講義・質疑応答・ 授業内試験	20 回目までの授業内容の復習
22	試験の返却と解説・プレゼンテーションの準備	講義・質疑応答・ リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジュメの復習
23	アジアの教育(1) 東南アジア	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジュメの復習
24	アジアの教育(2) 南アジア	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジュメの復習
25	西ヨーロッパの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジュメの復習
26	北ヨーロッパの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジュメの復習
27	中東の教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジュメの復習
28	アフリカの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジュメの復習
29	北米・中南米の教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジュメの復習
30	オセアニアの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジュメの復習

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配布する。
参考書	石附 実『比較・国際教育学』(東信堂) 二宮皓編著『世界の学校』(学事出版)
その他 特記事項	JICA からゲストスピーカーを招き、日本の国際教育協力の実態について講義を行う。

科目名	EDU321: 社会正義のグローバルリテラシー				担当教員	M. Andrade		
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					3-④, 4-⑥	
キーワード	education, literacy, reading, social justice, writing, UNESCO							
授業の概要	This course, Literacy Education and Social Justice: A Global Perspective, aims to develop an understanding of literacy and its relationship to social justice (equality, human rights), especially in developing countries. It considers literacy from social, economic, political, and educational viewpoints. Activities include close reading and discussion of UNESCO reports supplemented by other readings, videos, and web sites of literacy organizations.							
達成目標	To develop an understanding of literacy and its relationship to social justice, especially women's literacy in developing countries. To develop an understanding of literacy from social, economic, political, and educational viewpoints.							
到達目標	In discussions, on written homework assignments, and on quizzes and tests, students will be able to (1) summarize and explain the core literacy concepts presented in each lesson, (2) give examples of how literacy is connected to social justice, and (3) explain the problems faced by literacy programs and possible solutions to them.							
評価方法	(1) Written homework 20%, (2) Participation in discussions 20%, (3) Weekly quizzes 20%, (4) Two in-class tests 40% (20% each).							
評価基準	Each category above will be graded holistically on a 4-point scale (4 = excellent, 3 = good, satisfactory = 2, 1 = needs improvement): (1) Accuracy of answers and completeness of homework assignments. (2) Active participation in discussions. (3) Quizzes: Ability to summarize main ideas and define terminology on weekly quizzes. (4) Tests: Ability to explain and give examples of the social, economic, political, and educational aspects of literacy on in-class tests.							
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc. ).							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Introduction.	lecture, discussion, video	<i>Global Literacy Challenge</i> (GLC) pp. 7-10
2	GLC: "Literacy in the 21st century" or LWE: "1. Introduction, 2. Background data"	lecture, discussion, video	GLC pp. 9-11. <i>Literacy and Women'</i> (LWE) pp. 7-9
3	GLC: "The United Nations Literacy Decade" or LWE: "3. 1 Literacy is a human right"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 12-14 LWE: pp. 11-12
4	GLC: "Literacy Initiative for Empowerment" or LWE: "3. 2 Literacy learning & development"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 15-16 LWE: pp. 12-14
5	GLC: "What does literacy mean?" or LWE: "3. 3 Literacy learning...empowerment"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 17-19 LWE: pp. 14-15
6	GLC: "Numeracy" or LWE: "3. 3 Literacy learning...empowerment"	lecture, discussion, video	GLC: p. 20 LWE: pp. 16-17
7	GLC: "Literacy: the foundation of lifelong..." or LWE: "4. 1 Raising voices...in Nepal"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 21-22 LWE: pp. 19-22
8	GLC: "Literacy: where do we stand?" or LWE: "4. 2 Literacy & life skills in Indonesia"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 23-26 LWE: pp. 22-25
9	GLC: "Literacy and human rights" or LWE: "4. 3 Claiming employment. . . in India"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 27-28 LWE: pp. 25-28

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
10	GLC: "Inclusion and equity..." or LWE: "4. 4 Women & literacy...Sierra Leone"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 29-32 LWE: pp. 28-32
11	GLC: "Getting the chance to learn literacy" or LWE: "4. 5 Children's nutrition...in Senegal"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 33-35 LWE: pp. 32-35
12	GLC: "Literacy and gender" or LWE: "4. 6 Learning reading...in Brazil"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 36-38 LWE: pp. 35-39
13	Review lessons 1-12.	small group discussions and one-to-one advice	Review the readings and your notes.
14	○Review (30 min. ). In-class test (60 min. ).	small group discussions and written test	Study for the test.
15	Return test and go over results. GLC: Literacy and poverty or LWE: "4. 7 Literacy...Pakistan"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 39-40 LWE: pp. 39-42
16	GLC: "Literacy in conflict-affected areas" or LWE: "4. 8 Women, family...in Turkey"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 41-42 LWE: pp. 42-47
17	GLC: "Making policy for literacy" or LWE: "Functional adult literacy" (Turkey)	lecture, discussion, video	GLC: pp. 43-47 LWE: pp. 47-49
18	GLC: "Putting policy into practice" or LWE: "4. 9 Bilingual literacy...in Bolivia"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 48-50 LWE: pp. 50-56
19	GLC: "Promoting quality literacy" or LWE: Challenge: "5. 1...empowerment"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 51-56 LWE: pp. 56-58
20	GLC: "The language question" or LWE: Challenge: "5. 2 ...traditional beliefs"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 57-58 LWE: pp. 58-61
21	GLC: "Developing capacity for literacy" or LWE: Challenge: "5. 3 Participation..."	lecture, discussion, video	GLC: pp. 59-61 LWE: pp. 61-62
22	GLC: "Literate environments" or LWE: Challenge: "5. 4 Involving men..."	lecture, discussion, video	GLC: pp. 62-67 LWE: pp. 62-63
23	GLC: "Monitoring and evaluation" or LWE: Challenge: "5. 5 ...not attractive..."	lecture, discussion, video	GLC: pp. 68-70 LWE: pp. 63-65
24	GLC: "Funding literacy" or LWE: Challenge: "5. 6 Building capacity..."	lecture, discussion, video	GLC: pp. 71-73 LWE: p. 66
25	GLC: "Partnerships for literacy" or LWE: Challenge: "5. 7 Opportunities..."	lecture, discussion, video	GLC: pp. 74-76 LWE: pp. 66-67
26	GLC: "Call to Action" or LWE: Challenge: "5. 8 ...influencing policies"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 77-79 LWE: pp. 68-69
27	LWE: "Recommendations" (strategies, etc. ). Review lessons 15-27.	lecture, discussion, video	LWE: pp. 71-76
28	Review lessons 15-27.	small group discussions and one-to-one advice	Review the readings and your notes.
29	○Review (30 min. ). In-class test (60 min. ).	small group discussions and written test	Study for the test.
30	Return test and go over results. Reflection paper. Course Evaluation Questionnaire.	discussion, reflection, one-to-one consultation	Review your portfolio. Prepare for reflection.

テキスト	Mark Richmond et al. (Eds. ). <i>The Global Literacy Challenge</i> (UNESCO). Web (PDF). Janine Eldred. <i>Literacy and Women's Empowerment: Stories of Success and Inspiration</i> (UNESCO Institute for Lifelong Learning). Web (PDF).
参考書	Asia Pacific Literacy Database ( <a href="http://www.accu.or.jp/litdbase/">http://www. accu. or. jp/litdbase/</a> ) UNESCO eAtlas of Literacy. ( <a href="http://tellmaps.com/uis/literacy/">http://tellmaps. com/uis/literacy/</a> )
その他 特記事項	(1) The choice of chapters (GLC or LWE) will depend on the ability level of the students. A TOEIC score of 500 + is strongly recommended. (2) Some chapters may be replaced with updated material.

科目名	PHL210: 倫理学					担当教員	丹木 博一	
開講期	秋	開講時限	火金1限	研究室	4214	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	よく生きること、幸福、正義、善、人格、徳、規範、自由、義務、目的、責任、愛							
授業の概要	「他者とともによく生きるために何をなすべきか」という倫理学の根本問題を追求する。善悪の基準に関する倫理学の歴史を辿りながら、大切にしなければならない道徳的規範はどのようなものであるかを考察する。							
達成目標	「人生いかに生きるべきか」という問いを真剣に問い進め、自分の考えを築き上げることができる。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理学の歴史に登場する基本的な概念と学説を正しく把握し、それを表現できる。</li> <li>・行為選択の倫理的規範についての現代的な議論を理解し、自分の意見を表現できる。</li> <li>・倫理的な問いを提起し、その問いに関する自分自身の考えを説明できる。</li> </ul>							
評価方法	授業毎の課題(15%)、授業毎のリアクションペーパー(15%)、中間レポート(1,500字以上)(20%)、期末レポート(2,500字以上)(50%)							
評価基準	<p>授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。</p> <p>リアクションペーパー：倫理学の基本的な概念と学説の意味を、自分の言葉で正しく論述できるかどうか。</p> <p>中間レポート：倫理学説の一つを取り上げ、それが行為選択のための倫理規範をどのように考えているかを自分の言葉でわかりやすく説明した上で、自分の意見を論述展開できるかどうか。</p> <p>期末レポート：最低一冊は参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて自分の言葉で問いを提起し、その問いに関するさまざまな考えを理解した上で、理由を挙げて自分の考えを論じることができるかどうか。</p>							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	よく生きることと行為の正しさへの問い	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.13-37を読んで要約する。
2	正しさの3つの視点：福祉・自由・美德	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.37-55を読んで要約する。
3	道徳的ジレンマ	ディスカッション リアクションペーパー	行為の正しさの尺度について自分の考えをまとめる。
4	ベンサム功利主義	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.56-75を読んで要約する。
5	ミルの功利主義	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.75-96を読んで要約する。
6	功利主義の意義と限界	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.23-55を読んで要約する。
7	ノージックのリバタリアニズム(自由至上主義)	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.97-110を読んで要約する。
8	所有権の範囲 ―臓器売買の是非	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.110-123を読んで要約する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	自由とそれ以外の道徳的価値の関係	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp. 88-115 を読んで要約する。
10	市場と道徳	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 124-148 を読んで要約する。
11	契約の有効性の根拠 —代理母出産の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 148-166 を読んで要約する。
12	市場原理の問題点と生存権	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp. 150-184 を読んで要約する。
13	カントの義務論	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 167-198 を読んで要約する。
14	道徳法則の普遍妥当性 —嘘をつくことの是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 198-223 を読んで要約する。
15	行為の動機と結果	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp. 56-87 を読んで要約する。
16	ロールズの正義論	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	中間レポート提出・教科書①pp. 224-246 を要約する。
17	平等という理念	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①p. 246-263 を読んで要約する。
18	格差原理についての問い	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp. 116-149 を読んで要約する。
19	アフターマティプ・アクション ※中間レポートに対するコメント	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 264-278 を読んで要約する。
20	正義と美德—入学許可競売の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 278-289 を読んで要約する。
21	多様性確保と分配の正義	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp. 217-244 を読んで要約する。
22	アリストテレスの目的論	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 290-314 を読んで要約する。
23	善き生の本質 —奴隷制の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 314-327 を読んで要約する。
24	行為の目的とケイパビリティアプローチ	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp. 185-216 を読んで要約する。
25	行為の責任	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 328-354 を読んで要約する。
26	マッキンタイアのコミュニタリアニズム(共同体主義)	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 354-381 を読んで要約する。
27	共同体主義に対する評価	ディスカッション リアクションペーパー	期末レポート提出
28	正義と共通善	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 382-394 を読んで要約する。
29	共通善に基づく政治 —同性婚の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書①pp. 395-419 を読んで要約する。
30	まとめ：他者とともによく生きること ※期末レポートに対するコメント	講義・ディスカッション・ レポート返却&講評・リアペ	講義を通して学んだ最も重要なことをまとめる。

テキスト	①マイケル・サンデル『これからの「正義」の話しよう』(ハヤカワ文庫) ②馬淵浩二『貧困の倫理学』(平凡社新書)
参考書	加藤尚武『現代倫理学入門』(講談社学術文庫) 伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』(名古屋大学出版会)
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	LIT323: イギリスの文化と文学					担当教員	山本 浩	
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4212	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	イギリスの4つの国、英語、階級、教育、キリスト教、芸術、メディア、食文化							
授業の概要	イギリス(連合王国)を構成している England, Scotland, Wales, Northern Ireland とその民族、England の言語である英語の歴史と特徴、イギリス社会の中で階級がもつ意味、イギリスの初等・中等教育と高等教育の歴史と現在、イギリスのキリスト教の歴史、イギリスの芸術(とくに美術と演劇)、イギリスの新聞と放送の特徴、イギリスの食事と紅茶文化について学び、同時に、それに関連した文学作品を読む。							
達成目標	イギリスと英語を理解するために、イギリスの文化のいろいろな面について学び、イギリスがどのような国であり、英語がどのような言語であるかが分かるようになることを目的とする。							
到達目標	イギリスの4つの国とその民族、英語の成り立ち・発展・現状、イギリス社会の階級、イギリスの教育、イギリスのキリスト教、イギリスの芸術、イギリスのメディア、イギリスの食文化について十分な理解があり、また、イギリス文学の中でそれらがどのように扱われているか作品を通して理解できるようになっていることを到達目標とする。							
評価方法	小テスト 50% 小論文 30% 授業への積極参加 20%							
評価基準	小テスト: 授業で取り上げた4つの国、英語の歴史、階級、教育、キリスト教、芸術、メディアなどの基本的な事柄をよく理解しているかを見る。 小論文: 課題に沿った内容であるか、よく考えられた議論を展開しているかを見る。 授業への積極参加: 授業での質問・発言・意見表明などを積極的に行なったかを見る。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	イギリスの4つの国と民族(古代～中世)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	イギリスの4つの国と民族(近代～現代)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	イギリスの4つの国についての評論文	“Being British”の講読と研究	事前に“Being British”を読む
4	英語の歩み(Old English から Middle English へ)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	英語の歩み(Middle English から Modern English へ)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	OE、ME、ModE の実例	OE、ME、ModE の「主の祈り」を読む	事前に「主の祈り」(日本語および現代英語)を読む
7	小テスト(45分)と1回～6回の授業の復習(45分)	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
8	小テストのふりかえり	小テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
9	イギリス社会の階級(階級とは何か)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	イギリス社会の階級(階級と英語)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
11	D. H. Lawrence, <i>Sons and Lovers</i> に見られる階級	<i>Sons and Lovers</i> の抜粋の講読と研究	事前に <i>Sons and Lovers</i> の翻訳を読む
12	イギリスの教育(初等・中等教育)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	イギリスの教育(高等教育)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	Roald Dahl, <i>Boy</i> に見られるイギリスの教育	Roald Dahl, <i>Boy</i> の講読と研究	事前に <i>Boy</i> の翻訳を読む
15	小テスト(45分)と9回~14回の授業の復習(45分)	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
16	小テストのふりかえり	小テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
17	イギリスのキリスト教(古代~中世)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
18	イギリスのキリスト教(宗教改革~現代)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	Graham Greene, <i>The End of the Affair</i> に見られるキリスト教	<i>The End of the Affair</i> の講読と研究	事前に <i>The End of the Affair</i> の翻訳を読む
20	イギリスの芸術(美術)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	イギリスの芸術(演劇)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	イギリス演劇の一例として Harold Pinter, <i>Family Voices</i> を読む	<i>Family Voices</i> の講読と研究	事前に <i>Family Voices</i> の翻訳を読む
23	小テスト(45分)と17回~22回の授業の復習(45分)	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
24	小テストのふりかえり	小テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
25	イギリスのメディア(新聞)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	イギリスのメディア(ラジオ・TV)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
27	イギリスの食文化	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
28	George Orwell, "A Nice Cup of Tea" を読む	"A Nice Cup of Tea" の講読と研究	事前に "A Nice Cup of Tea" の翻訳を読む
29	小テスト(45分)と小テストのふりかえり	テスト実施と復習	小テストの準備学習、そして復習
30	小論文の講評	小テストと小論文を返却し講評する	返却された小論文を読み直す
テキスト	特に使用しない。事前にパワーポイントのファイルをダウンロードして、授業前によく読んでおく。授業には、ファイルをプリントしたものを持参する。		
参考書	『イギリス文化事典』(丸善出版)		

科目名	LIT320: 演劇研究					担当教員	飯田 純也	
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4216	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	演劇、古代古典演劇、悲劇、喜劇、ソフォクレス、アリストファネス、シェイクスピア							
授業の概要	古代ギリシャの劇作家とシェイクスピアがどのように国家、自然、戦争、平和、男性、女性を描き、どのようなメッセージを残そうとしてきたのか検討する。学生は、配布資料(英文)を読みながらノートを取り、解釈や意見をまとめ、1人1回の口頭発表と7回の小論文提出(日本語で1,200字以上)を行う。期末レポート(日本語で4,000字以上)は、自ら選んだ作品とテーマで書く。							
達成目標	この授業の目標は、思想史の視点から、学生が演劇の意義を理解し、演劇研究を通じて人文及び社会科学の理論を批判的に再検討することができるようになることである。同時に、毎回のパワーポイント資料(英語)等を読み、自らの意見を資料と照らし合わせながら、小論文を書く能力を身につけることである。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 西洋文学の古典を物語として分析、批判、評価することができる</li> <li>2. 作品が描く問題や課題を西洋文明の問題や課題として理解することができる</li> <li>3. 作品で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる</li> <li>4. 問題意識をもって演劇作品を見る習慣ができる</li> <li>5. 議論をまとめる能力を身につけることができる</li> </ol>							
評価方法	1. 小論文が7回の提出で計40%、2. 期末レポートが20%、3. 口頭発表が10%、4. 授業参加状況が30%。授業参加は毎回提出するチャトルカードによって評価する。							
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	授業紹介	講義、質疑応答、ディスカッション	百科辞典で授業のキーワードを調べる
2	演劇論(1) The origin of drama as ritual	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習
3	演劇論(2) Tragedies and comedies	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習
4	Sophocles, <i>Oedipus the King</i> (1) 物語の確認、分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
5	Sophocles, <i>Oedipus the King</i> (2) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
6	Sophocles, <i>Oedipus the King</i> (3) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
7	Sophocles, <i>Oedipus at Colonus</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
8	Sophocles, <i>Oedipus at Colonus</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no.1 の準備(提出は次回授業時)
9	Seneca, <i>Oedipus</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	Seneca, <i>Oedipus</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no.2 の準備(提出は次回授業時)
11	プラトン vs アリストテレス (1) <i>Plato's Republic</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、要点をノート
12	プラトン vs アリストテレス (2) <i>Aristotle's Poetics</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、要点をノート
13	プラトン vs アリストテレス (3) <i>Aristotle's Nicomachean Ethics</i>	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no.3 の準備(提出は次回授業時)
14	Sophocles, <i>Antigone</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
15	Sophocles, <i>Antigone</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no.4 の準備(提出は次回授業時)
16	Shakespeare, Tragedies, <i>Hamlet</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
17	Shakespeare, Tragedies, <i>Hamlet</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
18	Shakespeare, Tragedies, <i>King Lear</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
19	Shakespeare, Tragedies, <i>King Lear</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no.5 の準備(提出は次回授業時)
20	Aristophanes, <i>Lysistrata</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
21	Aristophanes, <i>Lysistrata</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no.6 の準備(提出は次回授業時)
22	Shakespeare, Comedies, <i>The Midsummer Night's Dream</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
23	Shakespeare, Comedies, <i>The Midsummer Night's Dream</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
24	Shakespeare, Comedies, <i>Much Ado About Nothing</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
25	Shakespeare, Comedies, <i>Much Ado About Nothing</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
26	Shakespeare, Comedies, <i>Twelfth Night</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料(英文)の予習、筋と要点をノート
27	Shakespeare, Comedies, <i>Twelfth Night</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no.7 の準備(提出は次回授業時)
28	研究倫理 期末レポート作成 (1)	講義、グループワークで相互発表・評価	期末レポートの準備 作品、テーマの決定
29	期末レポート作成 (2)	グループワークで相互発表・評価	期末レポートの準備
30	学生発表 総括	ボランティア学生の発表、講評	期末レポートの提出

テキスト	課題資料(毎回取り扱う作品の英文テキスト)は事前にクラスで配布される。
参考書	Brown, John Russell, ed. <i>The Oxford Illustrated History of Theatre</i> (Oxford University Press, 1995). McDonald, Marianne, and J. Michael Walton, eds. <i>The Cambridge Companion to Greek and Roman Theatre</i> (Cambridge University Press, 2007). Kastan, David Scott, ed. <i>A Companion to Shakespeare</i> (Blackwell Publishers Inc., 1999).

科目名	LIT321: 小説研究					担当教員	永野 良博	
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4218	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	英米小説、小説の技巧、小説研究の用語とコンセプト、小説・第二次資料読解、論文作成							
授業の概要	多様な英米小説の抜粋と小説の技巧に関する評論を読み、小説研究の基本となる用語やコンセプトの理解を深めながら、研究に必要な資料を読解し、最終的には小説に関する論文を作成する。用語やコンセプトが含むのは、信頼出来ない語り手、作者の介入、意識の流れ、エピファニー、異化、怪奇、時間の移動、反復、スカーズ、語りの持続感、メタフィクション等である。授業形態に関しては、講義の他に日々学生による能動的な発言がなされる。							
達成目標	英語で書かれた小説の抜粋と技巧に関する評論の読解力を伸ばし、特に分析的かつ批判的な文章、そして文章の背後に在る考えを読み込む力を身に付ける。また日本語で書かれた研究資料を基に作品に関する知識を広げる。文学研究上重要な用語、コンセプト、アプローチに慣れ親しみ、どのように研究上の主題設定をし、用語や言説を使いこなすか理解する。また小説に関する学問的知識を基に意見表明する力を付け、論文作成力を身に付ける。							
到達目標	小説に関する英語の評論を読むために必要な語彙・文法力を身に付け、文章の論理を追い内容を把握し、行間を読むことが出来るようになる。文学用語とコンセプトの基本的な意味を理解出来る。また日本語の研究資料を読み、多様な作品が提示する人間や社会に関わる問題の重要性を理解出来る。授業では文章の読解を基に自ら説得力を持つ意見を明確に述べ、論文作成では小説研究の基本的方法を理解した上で、独自の論を発展出来る。							
評価方法	授業参加 (40%)、テスト (30%)、論文 (30%)							
評価基準	授業参加では、英語の小説の抜粋や評論の理解に必要な語彙、文法、読解力を示すことが求められ、資料の読解に基づいた明確で論理的な意見発信力も重要である。テストでは、英語資料に関する語彙・文法と読解における基礎的理解力を示すと共に、文学用語やコンセプト、そして幾つもの作品の内容について理解を示すこと。論文では、自分が研究対象として選んだ小説一作品と第二次資料の内容を理解した上で、授業で扱った文学研究のアプローチを活用しながら、自ら設定した主題を明確に説明し、それを論理的かつ構成力を持って発展させ、意義ある結論に到達することが重要である。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	科目案内。Kazuo Ishiguro, <i>The Remains of the Day</i> . 【信頼出来ない語り手】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 7-10. ハンドアウト指定箇所
2	Ishiguro, <i>Remains</i> . 【信頼出来ない語り手】欺瞞、反ユダヤ主義、感情的不毛さ	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 7-10. ハンドアウト指定箇所
3	E. M. Forster, <i>Howards End</i> . 【作者の介入】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 11-14. ハンドアウト指定箇所
4	Forster, <i>Howards End</i> 【作者の介入】リアリズム、作者の自意識、ポストモダン	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 11-14. ハンドアウト指定箇所
5	Virginia Woolf, <i>Mrs. Dalloway</i> . 【意識の流れ】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 30-35. ハンドアウト指定箇所
6	Woolf, <i>Mrs. Dalloway</i> . 【意識の流れ】自由間接文体、抒情的表現力	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 30-35. ハンドアウト指定箇所

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
7	John Updike, <i>Rabbit Run</i> . 【エピファニー】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 36-39. ハンドアウト指定箇所
8	Updike, <i>Rabbit Run</i> . 【エピファニー】 抒情詩の言語的緊密さ、信仰の欠如	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 36-39. ハンドアウト指定箇所
9	Charlotte Brontë, <i>Villette</i> . 【異化】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 40-44. ハンドアウト指定箇所
10	Brontë, <i>Villette</i> . 【異化】 芸術の虚偽と真実、女性の身体、独創性	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 40-44. ハンドアウト指定箇所
11	Edgar Allan Poe, “William Wilson.” 【怪奇】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 45-49. ハンドアウト指定箇所
12	Poe, “William Wilson.” 【怪奇】 分身、内なる良心、語り手の信頼性	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 45-49. ハンドアウト指定箇所
13	Graham Greene, <i>The Heart of the Matter</i> . 【異国性】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 50-54. ハンドアウト指定箇所
14	Greene, <i>The Heart of the Matter</i> . 【異国性】 帝国主義イデオロギー、自然と文明の比喩	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 50-54. ハンドアウト指定箇所
15	テストおよび復習	テスト、講義、意見交換	テスト準備、 <i>The Art of Fiction</i> と HO 指定箇所
16	Muriel Spark, <i>The Prime of Miss Jean Brodie</i> . 【時間の移動】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 55-60. ハンドアウト指定箇所
17	Spark, <i>Jean Brodie</i> . 【時間の移動】過去の罪、 虚構と妄想、テストの返却および解説	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 55-60. ハンドアウト指定箇所
18	David Lodge, <i>Nice Work</i> , Paul Auster, <i>City of Glass</i> . 【名前】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 61-66. ハンドアウト指定箇所
19	Lodge, <i>Nice Work</i> , Auster, <i>City</i> . 【名前】 構造主義と言語の恣意性、神話的無垢	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 61-66. ハンドアウト指定箇所
20	Ernest Hemingway, “In Another Country.” 【反復】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 67-71. ハンドアウト指定箇所
21	Hemingway, “In Another Country.” 【反復】 美文と嘘、トラウマへの対処、独創的文体	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 67-71. ハンドアウト指定箇所
22	J. D. Salinger, <i>The Catcher in the Rye</i> . 【スカーズ】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 72-76. ハンドアウト指定箇所
23	Salinger, <i>Catcher</i> . 【スカーズ】 計算された口語体、スイングする文章	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 72-76. ハンドアウト指定箇所
24	Evelyn Waugh, <i>A Handful of Dust</i> . 【電話】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 77-82. ハンドアウト指定箇所
25	Waugh, <i>A Handful of Dust</i> . 【電話】 肉体的存在のない会話、嘘と裏切り	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 77-82. ハンドアウト指定箇所
26	Donald Barthelme, “Will You Tell Me?” 【持続感】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 83-86. ハンドアウト指定箇所
27	Barthelme, “Will You Tell Me?” 【持続感】 テンポの混乱、動機の不条理さ	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 83-86. ハンドアウト指定箇所
28	テストおよび復習	テスト、講義、意見交換	テスト準備、 <i>The Art of Fiction</i> と HO 指定箇所
29	John Barth, “Lost in the Funhouse.” 【メタフィクション】導入	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 87-92. ハンドアウト指定箇所
30	Barth, “Funhouse.” 【メタフィクション】 虚構に関する虚構、テストの返却および解説	講義、意見交換	<i>The Art of Fiction</i> , pp. 87-92. ハンドアウト指定箇所
テキスト	David Lodge. <i>The Art of Fiction</i> (英宝社) ハンドアウト		

科目名	LIT322: 映画と文学					担当教員	飯田 純也	
開講期	春	開講時限	火金3限	研究室	4216	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	歴史、教訓、社会、戦争、反戦、虐殺、差別、SF、ユートピア、プロパガンダ、ゲーム							
授業の概要	映画と文学を物語として捉え、映画作品において、われわれの世界がどのように物語られているのか探求する。名作とされるものを多く取り上げ、作品の内容を理解する語学力、作品が取り上げる問題を分析、批判、議論する思考力を身につける。							
達成目標	授業では毎回、映画作品を取り上げ、物語の内容を理解する語学力と理解力、物語が描く「世界」「社会」「人間」を分析的、批判的、論理的に説明する思考力の獲得を目標とする。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 映画を物語として分析、批判、評価することができる</li> <li>2. 映画が描く現代の問題や課題を理解することができる</li> <li>3. 映画で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる</li> <li>4. 問題意識をもって映画を見る習慣ができる</li> <li>5. 映画を語学教材として活用する習慣ができる</li> </ol>							
評価方法	1. 授業参加(30%)は予習・復習と口頭発表の量、2. 語学力と理解力(30%)は毎回のシャトルカードで判断する予習・復習の質、3. 思考力(40%)は提出5回の小論文(日本語で1,600字以上)で評価する。							
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Introduction to Film and Literature <i>Hugo</i> (2011)	講義、課題 DVD 視聴リスト配布	課題リストを基に DVD の入手先を各自検討
2	Introduction to Film and Literature <i>Cinema Paradiso</i> (1988)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
3	Charlie Chaplin <i>Chaplin</i> (1992)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
4	<i>The Kid</i> (1921) and <i>Modern Times</i> (1936)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
5	Discussion: <i>The Great Dictator</i> (1940)	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 1 の準備(提出は次回授業時)
6	H. G. Wells and SF films: <i>The Time Machine</i> , <i>The Shape of Things to Come</i>	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
7	Discussion: <i>The War of the Worlds</i> (2005)	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
8	Propaganda (Sergei Eisenstein, D. W. Griffith, Leni Riefenstahl, Edward Bernays)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
9	Discussion: propaganda and propaganda films: <i>Welcome to Sarajevo</i> (1998)	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 2 の準備(提出は次回授業時)
10	Drama ( <i>Rain Man</i> , <i>What's Eating Gilbert Grape</i> , <i>I Am Sam</i> , etc.)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	<i>The Theory of Everything</i> (2014)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
12	Discussion: <i>The Theory of Everything</i>	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
13	Epic ( <i>War and Peace, Doctor Zhivago, Reds, Dances with Wolves, Legends of the Fall</i> )	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
14	<i>Les Misérables</i> (2012)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
15	Discussion: <i>Les Misérables</i>	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 3 の準備(提出は次回授業時)
16	Dystopia literature ( <i>Metropolis, Nineteen Eighty-Four, etc.</i> )	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
17	<i>The Hunger Games</i> trilogy (2012, 2013, 2014 and 2015)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
18	Discussion: <i>The Hunger Games</i> trilogy	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
19	War ( <i>The Cold Mountain, The Red Baron, A Bridge Too Far, Nuremberg, etc.</i> )	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
20	<i>Thirteen Days</i> (2000)	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
21	Discussion: <i>Thirteen Days</i>	講義、発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 4 の準備(提出は次回授業時)
22	Introduction to independent research	講義、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
23	<i>The Color Purple</i> (1985), <i>Amistad</i> (1997), <i>12 Years a Slave</i> (2013)	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
24	<i>Pride and Prejudice</i> (1995) and <i>Bridget Jones</i> film series (2001, 2004)	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
25	Harry Potter film series and Star Wars film series	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
26	<i>The Lord of the Rings</i> trilogy and <i>The Chronicles of Narnia</i> film series	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
27	Studio Ghibli and other Japanese films	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
28	Discussion on the films treated in classes 23 through 27	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
29	Discussion continued	講義、発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 5 の準備(提出は次回授業時)
30	Reflection and discussion	ペアワーク、学修成果のまとめ	学修成果の振り返り

テキスト	テキストは使用しません。授業ごとに映画の抜粋スクリプト(英文)などの資料を用意して配布します。
参考書	Robert Sklar. <i>A World History of Film</i> (2003); Jill Neldes. <i>Introduction to Film Studies</i> (2011); Edward Bernays. <i>Propaganda</i> (2005); Timothy Corrigan. <i>Film and Literature: An Introduction and Reader</i> (2012)

科目名	LNG310: 社会言語学					担当教員	神谷 雅仁	
開講期	春	開講時限	月木3限	研究室	4215	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	言語コミュニティ、地域方言、社会方言、多言語主義、Style shift、Politeness、文化							
授業の概要	本講は言語学の中でも社会言語学と呼ばれる分野の入門編という位置付けのもと、言語をそれが使われる社会との関係から考察していく。各単元の学習内容は言語選択やポライトネス理論、社会方言といった社会言語学の中でも中核を成す内容を中心に構成される。授業はテキストおよび関連する内容についてのハンドアウトを中心に講義形式で進められ、理解促進のため必ず単元ごとに既習内容のレビューを行う。							
達成目標	本講で対象となる言語社会は学生にとっての母語である日本語社会、および様々な英語圏の国・地域で使用される英語のコミュニティが中心となるが、ヨーロッパやアジアなど、その他の地域に関する言語状況などについても概観する。そのため、学生は人が社会の中でどのように言葉を選択し、それを使用しているかについて幅広い、グローバルな視点に立って考えることができるようになる。							
到達目標	上記の達成目標をもとに、本講では学生が言語使用や言語バリエーションに関する様々な概念や理論に触れ、それを理解することで、自らが日々の生活の中でどのように言葉を使い生活しているのか、自分の母語および学習言語がどのような状況に置かれているのか、また自分の言語(特に母語)がどのように自らのアイデンティティを形成しているのかなどについて、客観的に認識できるようになる。							
評価方法	▶理解度テスト1(35%)、▶理解度テスト2(35%)、▶Research assignment(20%)、▶授業参加度(10%)							
評価基準	▶理解度テスト1: 学期前半部分の学修内容について、その理解と定着度を確認する。 ▶理解度テスト2: 学期後半部分の学修内容について、その理解と定着度を確認する。 ▶Research assignment: 学期を通して学ぶいくつかのテーマには、それをさらに学生が自ら調べ、まとめるという課題が課せられる。この課題は(1)指示通りに調べたことがまとめられているか、(2)それを自分自身の言語観や日常の言語使用、また経験に照らし合わせ、より深く議論できているか、という2点において評価される。 ▶授業参加度: 授業内(特にReview時)での発言や質問の回数と内容							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Course overview 本講を概観する	講義、ディスカッション	テキストのまえがきを読む
2	What is Linguistics? 言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション	プリントの予習・復習
3	What is Sociolinguistics? 社会言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション	テキスト(ch.1)、レジユメの予習・復習
4	Multilingualism 多言語社会	講義、ディスカッション	テキスト(ch.2)、レジユメの予習・復習
5	Diglossia & Domain 2言語併存の状況	講義、ディスカッション	テキスト(ch.2)、レジユメの予習・復習
6	Code-switching: Why do we code-switch? なぜコードスイッチするのか	講義、ディスカッション	テキスト(ch.2)、レジユメの予習・復習
7	Code-switching: How do we code-switch? どのようにコードスイッチするのか	講義、ディスカッション	テキスト(ch.2)、レジユメの予習・復習
8	Language death: "Ainu Rebels" 言語の死	講義、ディスカッション、DVD視聴	テキスト(ch.2)、レジユメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	Language death 言語の死	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 2)、レジュメの予習・復習
10	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語： その背景と特徴	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 2)、レジュメの予習・復習
11	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語： 広がりと言語的発達	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 2)、レジュメの予習・復習
12	Regional variations: Studies by Labov 地域方言：Labovの調査研究	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 3)、レジュメの予習・復習
13	Regional variations: Variations in English 地域方言：英語の地域差	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 3)、レジュメの予習・復習
14	World Englishes: 国際語としての英語 Review of the first half 前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 3)、レジュメの予習・復習、前半の復習
15	Review of the first half 前半のまとめ 理解度テスト1	講義、質疑応答 試験実施	テキスト(ch. 1-3)、レジュメの復習、テスト準備
16	Test review 試験の返却、および解説 Social variations 社会方言：W. Labov	講義、ディスカッション	試験のReview、テキスト(ch. 3)
17	Social variations: social class and gender 社会方言：社会階級、性差	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 3)、レジュメの予習・復習
18	Social variations: ethnicity and age / generation 社会方言：人種・民族、年齢・年代	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 3)、レジュメの予習・復習
19	Audience Design オーディエンス・デザイン	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 4)、レジュメの予習・復習
20	Accommodation Theory アコモデーション理論	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 4)、レジュメの予習・復習
21	Politeness: Its background ポライトネス：その背景	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 4)、レジュメの予習・復習
22	Politeness: B & L's politeness ポライトネス：ブラウン&レビンソン	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 4)、レジュメの予習・復習
23	Sexist language use 性差別的言語使用	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 5)、レジュメの予習・復習
24	Cross-cultural Communication: Culture 異文化コミュニケーション：文化	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 5)、レジュメの予習・復習
25	Cross-cultural Communication: Context 異文化コミュニケーション：文脈	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 5)、レジュメの予習・復習
26	Cross-cultural Communication: Sapir-Whorf Hypothesis 異文化コミュニケーション	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 5)、レジュメの予習・復習
27	Language policy 言語政策	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 5)、レジュメの予習・復習
28	Language policy 言語政策 Review of the second half 後半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 5)、レジュメの予習・復習、後半の復習
29	Review of the second half 後半のまとめ 理解度テスト2	講義、質疑応答 試験実施	テキスト(ch. 3-5)、レジュメの復習、テスト準備
30	Test review 試験の返却、および解説 Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	テスト問題の見直し

テキスト	東照二(著)『社会言語学入門』(研究社)
参考書	飯野公一ほか(著)『新世代の言語学』(くろしお出版) Wardhaugh, R. <i>An Introduction to Sociolinguistics</i> (Blackwell).
その他 特記事項	本講の履修には「言語学概論」が履修済みか、あるいは同時履修していることが望ましい。よってそうでない場合には履修登録前に担当教員と話をする必要がある。

科目名	LNG305: 音声学				担当教員	大澤 恵里		
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び 学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	アメリカ英語、日本語、母音、子音、音素							
授業の 概要	英語音声学の基礎的な知識を身につけ、英語の発音・リスニングの向上につなげていく。特に英語音声の生成の仕組みを学ぶことで英語音声への理解を深める。コースの後半には日本語音声について学ぶ機会も設け、母音や子音の日英対比を行う。 授業は主にパワーポイントを用いた講義形式で進めるが、単語(音声)の書き取り等の課題に取り組む時間も多く取る。							
達成目標	言語音の生成の仕組みや構造を学ぶことで、身のまわりの言語(英語や日本語など)の音声への理解を深め、自身がかかえる音声上の問題(発音など)を解決できるようになる。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段何気なく使っている言語音声(母語や外国語)に興味や関心を広げる。</li> <li>・習得した理論や知識を自身の発音やリスニングに反映できるようになる。</li> </ul>							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加(20%)：授業で行う発音練習や課題への取り組みの積極性</li> <li>・授業外課題(10%×2回=20%)：①Transcription課題(英語)②Transcription課題(日本語)</li> <li>・授業内テスト(30%×2回=60%)</li> </ul>							
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加：授業内で行う発音練習等への積極的な参加を評価する。また、講義内容に対して発言・質問する姿勢も評価する。</li> <li>・授業外課題：講義内容の正しい理解とその知識の適切な使用を以下の点で評価する。 ①英語の音声記号を適切に使用できる。②日本語の音声記号を適切に使用できる。</li> <li>・授業内テスト：基礎的な理論や知識が身につけているかを評価する。テストでは用語の意味や理論の説明が求められる他、音声記号の適切な使用も求められる。</li> </ul>							
準備学修 の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	オリエンテーション 音声(音)とは何か	講義	講義内容を復習する。
2	音声学について 調音器官	講義	テキスト pp. 15-20 を読んでくる。
3	調音様式	講義	講義内容を復習する。
4	IPA 音声記号について	講義 音声記号使用実習	講義内容を復習する。
5	アメリカ英語の母音 ①高母音	講義 発音 / リスニング練習	CDを聞いて復習する。 記号の復習をする。
6	アメリカ英語の母音 ②低母音	講義 発音 / リスニング練習	CDを聞いて復習する。 記号の復習をする。
7	アメリカ英語の母音 ③二重母音	講義 発音 / リスニング練習	CDを聞いて復習する。 記号の復習をする。
8	ここまでの復習 Transcription 練習	講義 Transcription 練習	授業外課題①
9	アメリカ英語の子音 ①閉鎖音	講義 発音 / リスニング練習	調音方法の復習をする。 記号の復習をする。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	アメリカ英語の子音 ②摩擦音	講義 発音 / リスニング練習	調音方法の復習をする。 記号の復習をする。
11	アメリカ英語の子音 ③破擦音、鼻音	講義 発音 / リスニング練習	調音方法の復習をする。 記号の復習をする。
12	アメリカ英語の子音 ④接近音	講義 発音 / リスニング練習	調音方法の復習をする。 記号の復習をする。
13	ここまでの復習 Transcription 練習	講義 練習問題	これまでの授業内容を復習する。
14	授業内試験① 知覚についての講義	試験 講義	試験準備
15	授業内試験の返却、及び解説	試験返却 解説と復習	間違えた箇所を確認する。
16	英語のリズム	講義 発音練習	発音の練習をする。 講義の内容の復習をする。
17	英語のアクセント	講義 発音練習	発音の練習をする。 講義の内容の復習をする。
18	英語のイントネーション	講義 発音練習	発音の練習をする。 講義の内容の復習をする。
19	英語音声の復習 音声の音響的特徴	講義 質疑応答	音響分析について復習し、宿題を行う。
20	日本語の音声 ①母音	講義	講義内容(特に記号)を復習する。
21	日本語の音声 ②閉鎖音、摩擦音、破擦音	講義	講義内容(特に記号)を復習する。
22	日本語の音声 ③鼻音、接近音	講義	講義内容(特に記号)を復習する。授業外課題②
23	日本語のリズム	講義	講義内容を復習する。
24	日本語の方言について	講義	講義内容を復習する。
25	音韻論 ①音韻論とは何か。 音素について	講義	講義内容を復習する。
26	音韻論 ②ミニマルペアについて	講義	講義内容を復習する。
27	音韻論 ③音韻規則について	講義	講義内容を復習する。
28	学期の総復習	まとめプリント	プリントでわからない箇所を確認する。
29	復習 授業内試験②	講義 試験	これまでの復習をする。 試験準備
30	授業内試験の返却、及び解説 質疑応答	試験返却 解説、質疑応答	質問を考えてくる。 間違えた箇所を確認する。

テキスト	竹林滋、清水あつ子、斎藤弘子『改訂新版 初級英語音声学』(大修館書店)
参考書	窪園晴夫『音声学・音韻論』(くろしお出版)
その他 特記事項	日本語音声学に関する講義はテキストを使用せず、プリントを配布する。

科目名	LNG302: 語用論					担当教員	近藤 佐智子	
開講期	春	開講時限	月木2限	研究室	4208	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	言語学、会話、異文化間語用論、発話行為、ポライトネス、含意							
授業の概要	会話における相互理解の仕組みに関する語用論の理論を理解した上で、日本人が英語で「断り」や「依頼」などの発話行為をする場合、どのような誤解が起こりうるのか、異文化間コミュニケーションや外国語の学習という視点から考察する。授業は、講義と練習問題、ロールプレイ、グループディスカッションによって進める。最後に受講者は各自実際に会話を語用論的視点で分析し、小規模な研究プロジェクトを行い、レポートにまとめ口頭発表する。							
達成目標	実際に会話を行う際の相互理解のプロセスについて理解を深めることを目標とする。語用論の理論について学んだ上で、実際に会話を分析することによって、言語に関する理解を深めると同時に分析結果を発表する力をつける。また、異文化間語用論的視点で日本語と英語を比較することによって、英語でのコミュニケーション能力を高める。							
到達目標	会話の仕組みについての語用論の理論を理解し、具体例を挙げて理論を説明できるようになる。文化的価値観が言語使用にどのような影響を与えるかを理解し、日本と英語を比較する能力をつける。相手に失礼にならないような、状況に合った適切な英語を使用する能力をつける。映画やドラマの中の英語での会話を語用論的視点で分析し、その結果を書面(レポート)と口頭で表現できるようになる。							
評価方法	小テスト2回(40%) レポート(20%) 発表(20%) 授業時の積極参加(20%)							
評価基準	別紙参照。評価基準の詳細については初回の授業時に配布する。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	導入：授業の概要と評価方法 What is Pragmatics? (語用論とは何か)	講義、ディスカッション	テキスト15-22頁を読む
2	What is Pragmatics? (語用論とは何か)：状況の中での発話の意味	講義、ディスカッション	テキスト15-22頁を読む
3	Greeting (挨拶)	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト1-8頁を読む
4	Communicative Competence (言語運用能力)	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト9-15頁を読む
5	Speech Acts (発話行為)：理論と分類	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト23-30頁を読む
6	Speech Acts (発話行為)：間接発話行為	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト47-54頁を読む
7	Speech Acts (発話行為)：謝罪	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト31-38頁を読む
8	Conversational Implicature (会話による含意)：協調の原則	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト39-46頁を読む
9	Conversational Implicature (会話による含意)：会話の分析	講義、ビデオ視聴 ディスカッション	テキスト39-46頁を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	Politeness (ポライトネス) : Brown & Levinson の理論	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 55-63 頁を読む
11	Politeness (ポライトネス) : Leech の理論	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 64-71 頁を読む
12	日本語と英語のポライトネス	講義、ディスカッション	資料「日英のポライトネス」を読む
13	Politeness in Making a Request (依頼の中のポライトネス)	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 72-79 頁を読む
14	小テスト 1 (30 分) 復習 (60 分)	小テスト、講義 ディスカッション	小テストのための復習
15	会話分析：隣接応答ペア	講義、ペアワーク、ディスカッション	資料「会話分析：隣接応答ペア」を読む
16	会話分析：修復 小テスト 1 の返却、および講評	講義、ディスカッション	資料「会話分析：修復」を読む
17	会話分析：優先構造	講義、ペアワーク、ディスカッション	資料「会話分析：優先構造」を読む
18	語用論的視点からの会話の分析 (レポートと発表について)	ビデオ視聴、講義、ディスカッション	談話完成タスク 発表の題材を考える
19	Cross-cultural Pragmatics (異文化間語用論)	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト 80-86 頁読む
20	日英比較：Apologies (謝罪)	ロールプレイ、ディスカッション	資料「Apologies」を読む
21	日英比較：Requests (依頼)	ロールプレイ、ディスカッション	資料「Requests」を読む
22	日英比較：Compliments and Responses to Compliments (誉め言葉と応答)	ロールプレイ、ディスカッション	資料「Compliments」を読む
23	日英比較：Refusals (断り)	ロールプレイ、ディスカッション	資料「Refusals」を読む
24	日英比較：Complaints (不満表明)	ロールプレイ、ディスカッション	資料「Complaints」を読む レポート作成
25	小テスト 2 (30 分) 復習 (60 分)	小テスト、講義 ディスカッション	小テストのための復習
26	語用論的視点からの会話の分析 (発表)	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
27	語用論的視点からの会話の分析 (発表)	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
28	語用論的視点からの会話の分析 (発表)	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
29	語用論的視点からの会話の分析 (発表)	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
30	小テスト 2 の返却、および講評 レポート提出、復習と総括	講義、ディスカッション	レポート提出

テキスト	田中典子『プラグマティクス・ワークショップー身のまわりの言葉を語用論的に見る』(春風社)、配布資料
参考書	岡本真一郎(編)『ことばのコミュニケーション』(ナカニシヤ出版) ヘレン・スペンサー＝オーティエ(編著)『異文化理解の語用論』(研究社)
その他 特記事項	テキストと資料は日本語と英語で書かれているので、日本語と英語での予習復習が必要である。

科目名	ENG360: 英語史					担当教員	山本 浩	
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4212	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	英語の史的理解、標準英語と多様な英語、英語と階級・文学・宗教・政治・メディア							
授業の概要	現代の国際語としての英語の考察から始め、同時に地球の様々な地域で発達する英語について視野を広げてゆく。その後、英語の歴史的变化の問題を扱ってゆく。中心的な問題は、古英語、キリスト教文献、ノルマン語の流入と中英語への変化、中英語の詩及び劇、印刷技術の発達、近代英語の発達とシェイクスピアの英語、近現代の英語、英語と階級、アメリカ英語を扱う。							
達成目標	古英語、中英語、近代英語、現代英語の特徴を理解し、語彙、文法、発音等の身近な問題について歴史的観点から理解することを主な目的とする。英語史に必要な用語・概念を英語で理解し、英語による文献読解力を身につける。そして英語の発達を、英国史、世界史、英文学史と繋げる視点と知識を得る。							
到達目標	英語という言語内の個々の単語、文法、表現を、それらの背後にある歴史的な事象等と密接に結びつけ、言語を重層的に理解出来るようになる。英語史発展と関連が深い英国史、世界史、英文学史上の事象についても基本的知識を持つ。英語文献の正確な理解を、語彙、文法、文章構造の理解等と共に行えるようにする。							
評価方法	授業参加 20% 授業内容の理解度を確認する小テスト 80%							
評価基準	古英語、中英語、近代英語のそれぞれの特徴と、英語の変遷に関する知識を得ているか、また、英国史、世界史、英文学史と英語の歴史との関係についての知識を得ているかが評価される。また、授業での質問に答えたか、積極的に質問や意見を述べたかが評価される。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	英語の現在	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	ケルト人、ローマ人、ゲルマン人	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	比較言語学とインド・ヨーロッパ語族	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
4	インド・ヨーロッパ語族の諸言語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	ゲルマン語と英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	ゲルマン人と古英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
7	古英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
8	古英語の文学	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
9	小テスト(45分)と1回～8回の授業の復習(45分)	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	小テストのふりかえり	小テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
11	ノルマン征服と中英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
12	中英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	中英語の文学(チャオサー)	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	中英語の文学と時代	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
15	大母音推移と印刷術の発達	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
16	小テスト(45分)と11回~15回の授業の復習(45分)	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
17	小テストのふりかえり	小テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
18	ヨーロッパとイングランドのルネッサンス	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	チューダー朝と宗教改革	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
20	聖書の英語訳	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	近代英語の始まりとシェイクスピア	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	英語の規範化	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
23	小テスト(45分)と18回~22回の授業の復習(45分)	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
24	小テストのふりかえり	小テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
25	イギリスの階級	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	英語と階級、Queen's English, BBC English, RP	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
27	英語の方言	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
28	イギリス英語とアメリカ英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
29	小テスト(45分)と25回~28回の授業の復習(45分)	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
30	小テストのふりかえり	小テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
テキスト	特定の教科書は使用しない。事前に配布されるパワーポイント資料を事前にプリントして予習し、授業の時に持参する。		
参考書	寺澤盾『英語の歴史—過去から未来への物語』中公新書1971(中央公論新社) 中尾俊夫・寺島廸子『図説 英語史入門』(大修館書店)		

科目名	LNG320: バイリンガル教育					担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4217	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4,5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑥, 5-①	
キーワード	バイリンガル、母語、継承語、アイデンティティ							
授業の概要	授業では、バイリンガルの言語習得や文化習得に関する応用言語学の理論とバイリンガル教育の方法、日本と海外のマルチリンガル教育の現状について学ぶ。授業は教科書に従って、各章の要約を順番に口頭で発表したのち、講義とディスカッションを中心に進める。知識の定着を図るために、章ごとに10問から20問程度の小テストを行う。							
達成目標	本科目は、バイリンガルの言語発達や言語教育の方法を理解することを目的としている。							
到達目標	学期が終わるころには、バイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、教育方法が理解できるようになる。自分自身の英語学習や多言語環境にある人々の言語とアイデンティティなど、バイリンガリズムに関する問題についても専門的な知見を用いて分析し記述できるようになる。							
評価方法	授業への積極参加 15%、発表 5%、小テスト・宿題 40%、授業内試験（記述式） 40%							
評価基準	<p>授業への積極参加：発言やディスカッションへの貢献を評価する。</p> <p>発表：担当する章全体を予習して、担当部分のポイントを口頭で発表する。</p> <p>小テスト・宿題：理論や専門用語など授業内容の基礎的な理解を評価する。</p> <p>授業内試験（記述式）：バイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、教育方法を理解し、バイリンガリズムに関する現象や政策、問題等についても専門的な知見を用いて分析し記述できるか評価する。</p>							
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第1章 バイリンガルとは 母語と第2言語の違いについて	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書第1章前半を読む、ノートまとめる
2	第1章 バイリンガルとは バイリンガルのタイプ	講義、ディスカッション、質疑応答	第1章後半を読んで、ノートにまとめる
3	第1章 小テストと解説 グローバル化と人の移動	質疑応答、ディスカッション	小テストの準備
4	第2章 子どもの母語の発達と年齢 保護者の役割	講義、発表、ディスカッション	第2章前半を読んで、ノートにまとめる
5	第2章 子どもの母語の発達と年齢 臨界期とは	講義、発表、ディスカッション	第2章後半を読んでノートにまとめる
6	第2章 小テストと解説 第3章 バイリンガル教育の理論	質疑応答、講義、発表	小テストの準備
7	第3章 バイリンガル教育の理論 2言語相互依存の原則	講義、発表、ディスカッション	第3章前半を読んでノートにまとめる
8	第3章 バイリンガル教育の理論 社会心理的要因と言語の発達	講義、発表、ディスカッション	第3章後半を読んでノートにまとめる
9	第3章 小テストと解説 バイリンガル環境に育った人の語り	質疑応答、ディスカッション	小テストの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	第4章 家庭で育てるバイリンガル言語の使い分け	講義、発表、ディスカッション	第4章前半を読んでノートにまとめる
11	第4章 家庭で育てるバイリンガル2言語の干渉	講義、発表、ディスカッション	第4章後半を読んでノートにまとめる
12	第4章 小テストと解説 第5章 カナダのフレンチイマージョン	質疑応答、ディスカッション、講義	小テストの準備
13	第5章 イマージョン方式のバイリンガル教育：イマージョン方式の種類	講義、発表、ディスカッション	第5章前半を読んでノートにまとめる
14	第5章 イマージョン方式のバイリンガル教育：イマージョン方式の成果と課題	講義、発表、ディスカッション	第5章後半を読んでノートにまとめる
15	第5章 小テストと解説 第6章 年少者英語教育とバイリンガル	質疑応答、ディスカッション、講義	第6章前半を読んでノートにまとめる
16	第7章 マイノリティ言語児童生徒とバイリンガル教育 米国	講義、発表、ディスカッション	第7章前半を読んでノートにまとめる
17	第7章 マイノリティ言語児童生徒とバイリンガル教育 カナダ	講義、発表、ディスカッション	第7章後半を読んでノートにまとめる
18	第7章 マイノリティ言語児童生徒とバイリンガル教育 日本	講義、発表、ディスカッション	第7章後半を読んでノートにまとめる
19	第6～7章 小テストと解説 第8章 海外子女とバイリンガル教育 全日制日本人学校	質疑応答、ディスカッション、講義	小テストの準備
20	第8章 海外子女とバイリンガル教育 現地校と補習校	講義、発表、ディスカッション	第8章前半を読んでノートにまとめる
21	第8章 小テストと解説 第9章 日系人子女とバイリンガル教育 継承語としての日本語教育	質疑応答、ディスカッション、講義	小テストの準備
22	第9章 日系人子女とバイリンガル教育 継承語プログラムの問題点	講義、発表、ディスカッション	第9章を読んでノートにまとめる
23	第9章 小テストと解説 バイリンガル環境に育った人の語り	質疑応答、ディスカッション	小テストの準備
24	第10章 バイリンガルと文化の習得 2言語の習得とアイデンティティ	講義、発表、ディスカッション	第10章後半を読んでノートにまとめる
25	第10章 小テストと解説 バイリンガル環境に育った人の語り	質疑応答、ディスカッション	小テストの準備
26	第11章 バイリンガル教育への疑問 バイリンガル育成の課題	講義、発表、ディスカッション	第11章前半を読んでノートにまとめる
27	第12章 バイリンガル教育の外国語教育への貢献：応用言語学理論の応用	講義、発表、ディスカッション	第12章を読んでノートにまとめる
28	授業内試験と解説 記述問題の答え方	質疑応答、ディスカッション	授業内試験の準備
29	まとめ 第1章～5章の復習、解説	講義、質疑応答、ディスカッション	第1章～5章の復習
30	まとめ 第6章～12章の復習、解説	講義、質疑応答、ディスカッション	第6章～12章の復習
テキスト	中島和子『完全改訂版 バイリンガル教育の方法 12歳までに親と教師ができること』(アルク)		
参考書	川上郁男 2010『「私も移動するこども」だった』(くろしお出版)		

科目名	EDU310: 初等教育					担当教員	杉村 美佳	
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4220	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	小学校教育、発達教育学、初等教育史、教育課程、教育方法、指導案の作成、模擬授業							
授業の概要	前半では、児童期の発達の段階と筋道を、主に発達教育学の視点から学ぶ。後半では、教育課程論、教育方法論、初等教育の歴史と現状、課題について探求する。授業実践について理解を深めるため、実際に小学校の授業を見学し、その上で指導案の作成と模擬授業を行う。							
達成目標	児童期の発達や初等教育の基礎理論および課題を理解し、授業実践に必要な知識や技術の基礎を習得する。児童の発達や興味・関心に即した指導案を作成し、模擬授業を行うことを通して、実践的な指導力の基礎を身につける。							
到達目標	①初等教育の現状と課題を学び、教師論や教育課程論等を理解することを通して、初等教育の理論や実践に関する基礎知識を身につける。 ②『教育の段階』のブックレポート作成を通して、児童期の発達の筋道を理解し、発達段階に即した教育のあり方を考察できるようになる。 ③各自が学習者を主体とした「総合的な学習の時間」の指導案を作成し、模擬授業を行い、相互に授業評価をし合うことによって、効果的に児童への指導が行える力を養う。							
評価方法	授業時に課すリアクション・ペーパー (30%)、『教育の段階』のブックレポート (30%)、小学校見学のレポート (10%)、指導案の作成・発表 (30%)							
評価基準	リアクション・ペーパー：論題について授業内容を踏まえて論理的に論述できているか。 『教育の段階』のブックレポート：テキストの内容を理解し、発達の筋道に即した教育のあり方について考察できているか。 小学校見学のレポート：教師と児童の様子、授業のねらいや工夫を捉えているか。 指導案の作成・発表：ねらいが明確で一貫性があり、学習者の発達や興味に即した指導案であるか、指導案を効果的に実践する工夫がなされているか、を評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	小学生をめぐる今日的課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料の要約・考察
2	小学生の時代的变化	講義・ディスカッション リアクションペーパー	小学生の問題について調べる、配布資料の要約・考察
3	児童期の発達の諸側面と教育(1) —認知的発達—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	ピアジェの理論について調べる、配布資料の考察
4	児童期の発達の諸側面と教育(2) —社会的・人格的発達—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	社会性の発達について調べる、配布資料の要約・考察
5	児童期における道徳性の発達と教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布資料の要約・考察
6	児童期における問題行動の意味	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	問題行動について調べる DVDの内容の要約・考察
7	『教育の段階』のレポート発表(1)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』1のレポート 『教育の段階』の復習
8	『教育の段階』のレポート発表(2)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』2のレポート 『教育の段階』の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	『教育の段階』のレポート発表(3)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』3のレポート 『教育の段階』の復習
10	『教育の段階』のレポート発表(4)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』4のレポート 『教育の段階』の復習
11	小学校教師とは	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教師の問題について調べる 配布資料の要約・考察
12	初等教育の内容と教育課程	講義・ディスカッション リアクションペーパー	コア・カリキュラムを調べる、 配布資料の要約・考察
13	総合的な学習の時間の原理と方法	講義・ディスカッション リアクションペーパー	総合学習について調べる 配布資料の要約・考察
14	特別支援教育の現状と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	特別支援教育について調べる、 配布資料の要約・考察
15	近代日本初等教育史(1) 大正自由教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	大正自由教育について調べる、 配布資料の要約・考察
16	近代日本初等教育史(2) 戦後の教育改革	講義・ディスカッション リアクションペーパー	戦後の教育について調べる 配布資料の要約・考察
17	現代における授業改革	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	アクティブ・ラーニングを調べる、 DVDの要約・考察
18	諸外国の初等教育(1) アメリカ	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	アメリカの教育を調べる DVDの内容の要約・考察
19	諸外国の初等教育(2) ヨーロッパ	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	ヨーロッパの教育を調べる DVDの内容の要約・考察
20	小学校見学の準備	グループワーク	配布資料を読む 配布物の作成
21	小学校見学	見学	見学のポイントを作成 見学の振り返り
22	小学校見学のまとめ	グループワーク	見学のレポートを作成
23	指導案とは—指導案の作成方法—	講義、グループワーク	配布資料を読む 指導案の作成
24	指導案の作成(1) —単元・ねらいの設定—	各自指導案の作成	指導案の作成
25	指導案の作成(2) —教材・教具—	各自指導案の作成	指導案の作成
26	指導案の作成(3) —指導方法・評価—	各自指導案の作成	指導案の作成
27	模擬授業(1)	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
28	模擬授業(2)	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
29	模擬授業(3)	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
30	模擬授業(4)	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配布する。		
参考書	モーリス・ドベス著、堀尾輝久他訳『教育の段階 —誕生から青年期まで』(岩波書店) 近藤邦夫他編『児童期の課題と支援』(新曜社)		
その他 特記事項	秦野市教育委員会からゲストスピーカーを招き、授業実践に関する講義を行う。		

科目名	PSY301: 発達心理学				担当教員	森崎 ひろみ		
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び 学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑥	
キーワード	生涯発達、認知、対人関係、自己							
授業の 概要	発達心理学研究の成果に基づいて乳幼児から老人まで人間の生涯にわたる成長発達とその過程について学びます。発達段階毎の特徴や発達のメカニズムに関する重要なテーマを取り上げて理解を深めます。時間の経過とともに変化する人間の成長・発達の不思議に関心をもちつつ、発達ラインに沿った人間理解の可能性について視野を広げて行きます。							
達成目標	発達心理学の基本的な用語や知識を習得すること、発達心理学的思考を身につけること、テーマに沿って論理的に考えを展開できるようになること、発達心理学の臨牀的な問題を身近な問題として考えるための基礎知識を身につけていきます。							
到達目標	人間を発達的な観点から理解すること、現在の心のあり方を一生という時間軸で理解すること、自分自身の現在を振り返り展望して考えることができるようになることが目標です。							
評価方法	発表、授業態度とリアクションペーパー50%、授業内試験3回50%							
評価基準	発表や積極的な質問といった授業態度及び適切なリアクションペーパーの記述を評価する。試験では、学習したポイントや心理学用語を正確に理解し、適切にまとめ、記述できるかどうか、その上で、応用の設問にこたえることができるかどうかを評価する。							
準備学修 の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	オリエンテーション：授業の進め方等 生涯発達心理学とは	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	テキスト「はじめに」「目次」 に目を通しておくこと
2	発達の可塑性：遺伝と環境	発表、講義、リアクシ ョンペーパー	授業の要点をまとめ、次回の 単元を読み疑問等を整理する
3	発達のモデル：ピアジェとエリクソン	発表、講義、リアクシ ョンペーパー	授業の要点をまとめ、次回の 単元を読み疑問等を整理する
4	発達研究の方法：横断的方法と縦断的方法	発表、講義、リアクシ ョンペーパー	授業の要点をまとめ、次回の 単元を読み疑問等を整理する
5	生涯発達の視点：生涯発達を規定する要因	発表、講義、リアクシ ョンペーパー	授業の要点をまとめ、次回の 単元を読み疑問等を整理する
6	認知発達の基盤1：胎児と新生児	発表、講義、リアクシ ョンペーパー	授業の要点をまとめ、次回の 単元を読み疑問等を整理する
7	認知発達の基盤1：0歳児	発表、講義、リアクシ ョンペーパー	授業の要点をまとめ、次回の 単元を読み疑問等を整理する
8	認知発達の基盤2：幼児期	発表、講義、リアクシ ョンペーパー	授業の要点をまとめ、次回の 単元を読み疑問等を整理する
9	認知発達の基盤2：幼児期	発表、講義、リアクシ ョンペーパー	授業の要点をまとめ、次回の 単元を読み疑問等を整理する
10	第一回授業内試験 解答と解説	授業内試験、リアクシ ョンペーパー	1～9回授業の復習 試験の見直し
11	他者との関係性のはじまり：他者認識と愛着	発表、講義、リアクシ ョンペーパー	授業の要点をまとめ、次回の 単元を読み疑問等を整理する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
12	他者との関係性のはじまり：遊び	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
13	子どもの自己発達：自己の芽生え	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
14	子どもの自己発達：自己を表現する	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
15	自己を見つける：パーソナリティ	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
16	自己を見つける：アイデンティティ	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
17	認知能力の生涯発達：学校での学習	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
18	認知能力の生涯発達：成人後の認知能力	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
19	認知能力の生涯発達：高齢期の認知能力	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
20	第二回授業内試験 解答と解説	授業内試験、リアクションペーパー	11～19回授業の復習 試験の見直し
21	人間関係の広がりや深まり：友人・仲間関係	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
22	人間関係の広がりや深まり：親密な関係	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
23	人間関係の広がりや深まり：結婚	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
24	人間関係の広がりや深まり：親になること	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
25	大人の自己発達：多重化する自己	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
26	大人の自己発達：自己の揺らぎと成長	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
27	大人の自己発達：ジェネラティビティ	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
28	大人の自己発達：自己を統合する	発表、講義、リアクションペーパー	授業の要点をまとめ、次回の単元を読み疑問等を整理する
29	第三回授業内試験 解答と解説	授業内試験 リアクションペーパー	21～28回授業の復習 試験の見直し
30	生涯発達のまとめ：人生を上手に生きる	講義、ディスカッション	全体の流れを視野に入れて、 総括する

テキスト	鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ著『生涯発達心理学』(有斐閣アルマ)
その他 特記事項	必要に応じて、資料を moodle に up するので、アクセスして入手すること。 春学期に心理学の講義を受講していることが望ましい。

科目名	LNG325: 第二言語習得					担当教員	T. Gould	
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4209	オフィスアワー	P.16 を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	3, 4, 5	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					3-④, 4-⑥, 5-②	
キーワード	Second Language Acquisition, Linguistics, Language Learning							
授業の概要	The overall objective of this course is for students to learn the foundations of Second Language Acquisition. Students will also learn to conduct basic research using both provided data and data they collect themselves. Students will learn to create transcripts from their data and, most importantly, they will learn to analyze their data. Conducting this analysis will enable students to learn to synthesize the contents of the lectures and textbook with real world language use. Projects in this course will help students to learn to understand and improve their own second language learning process.							
達成目標	In this course, students will learn and use the vocabulary necessary to understand class lectures and discuss SLA topics with other class members. Students will learn to transcribe linguistic data, beginning with a Japanese-Japanese conversation. They will then learn to analyze their own second language production by transcribing and analyzing a sample of a conversation in English with other class members. Finally, for their final project, students will learn to put their knowledge to use by transcribing and analyzing data from an English speaker learning Japanese.							
到達目標	By the end of this course, students should be able to transcribe and analyze second language data from both English and Japanese. Students should also be able to discuss the basic processes of second language acquisition in terms that we have studied during the semester.							
評価方法	Small Project 15%, Mid-Term Project 25%, Final Project 30%, Assessment 30%.							
評価基準	Small Project: display understanding of SLA transcription methods as applied to Japanese conversation; Mid-Term Project: successfully complete full transcription of participant oriented video of English conversation, complete analysis of transcription including reference to text issues from video; Final Project: successfully complete transcription and analysis of video of acquisition of Japanese as second language; Assessment; for each of three tests, correctly answer test questions to display knowledge of covered content.							
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc. ).							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction: Goals of SLA; Describing and explaining L1 acquisition, wug test, stages	Lecture; pair-work; group-work	Read HLAL: 5-13; select groups for project 1
2	Behaviorist vs Innatist perspective; critical period hypothesis, interactionist (Piag. / Vyg. )	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 15-24; practice En conversation
3	Childhood bilingualism, learner characteristics, learning conditions	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 30-33; practice Eng. conversation
4	Studying the language of L2 learners, contrastive analysis, err. analysis, interlang.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 40-46; record 5 min. J. conversation
5	Vocabulary, pragmatics (directness, politeness, deference), conversational interact.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 60-68; prepare 1 min. sample transcript
6	Individual differences in SLA, learner characteristics, intelligence, aptitude	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 75-83; trans. rough draft and analysis points
7	Personality, attitudes and motivation, identity, learner beliefs	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 84-91; complete final transcript draft

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
8	Age and second language learning, critical period (in depth), intuitions of gramm.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 96; Project 1 due in class
9	Review and Test	Short lecture; take test	Study for test
10	Mimicry and memorization, Krashen's 'Monitor Model,' begin cognitive perspective, information processing; Return test and go over results	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 104-108; meet w / group-practice conv.
11	Usage-based learning, competition model, language and the brain, interaction hypothesis	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 109-111; meet w / group-practice conv
12	The noticing hypothesis, input processing, the role of practice	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 112-116; record 5 min E. conversation
13	The sociocultural perspective, learning by talking	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 117-121; distribute data to group
14	Observing learning and teaching in the second language classroom, natural and inst. settings	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 123-128; prepare 1 min sample transcript
15	Observation schemes, teacher-student interaction, characteristics of input / interaction	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 129-133; continue on transcript
16	Corrective feedback in the classroom, recasts and private speech, feedback in context	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 139-143; show outline and analysis pts.
17	Questions in the classroom, scaffolding, display, and referential questions	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 145-149; mid-term project due in class
18	Second Language Learning in the classroom, proposals for teaching, grammar plus comm.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 153-159; organize groups for final project
19	Comprehension-based instruction for children, reading for words, input flood, enhanced input	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 160-163; distribute data files
20	Review and Test	Short lecture; take test	Study for test
21	Processing instruction, interpreting research, 'Let's Talk' meth. ; Return test and go over results	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 164-168; prepare sample 1 minute trans
22	The dynamics of pair work, interaction and SL dev't, learner-learner interaction	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 169-171; prepare sample 1 minute trans.
23	French immersion programs in Canada, late immersion in HK, dual immersion	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 172-175; work on transcribing J. data
24	Teach what is teachable, developmental stage and first language acquisition	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 177-182; continue transcribing, identify analysis.
25	"Get it right in the end," form-focus experiments in intensive ESL	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 182-187; begin English gloss of trans.
26	Focusing on gender in French immersion, verb forms in content-based classrooms	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 187-189; complete English gloss
27	Focus on form in task-based instruction, assessing the proposals	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 190-198; finish transcription
28	Popular ideas about language learning revisited	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 202-212; rough outline of main analysis points
29	Review and Test	Short lecture; take test	Prepare final draft w / analysis
30	Return test and go over results; Conclusion: multiple perspectives in SLA	Lecture; pair-work; group-work	Transcription / analysis project (Japanese learner) due in class

テキスト	Patsy Lightbown and Nina Spada. <i>How Languages are Learned</i> (Oxford University Press).
------	---

科目名	EDU300: 児童英語教育演習 A					担当教員	狩野 晶子	
開講期	春	開講時限	月 1・2 限	研究室	4203	オフィスアワー	P.16 を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2 年	連絡先		
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑥, 5-②	
キーワード	児童英語教育、言語習得、模擬授業、サービスマーケティング活動、アクティブラーニング							
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案を作成し、模擬授業を行う。あわせてサービスマーケティング枠で行うイングリッシュ・フレンド活動に参加し授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。							
達成目標	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつける。サービスマーケティング活動での実践の機会を活用して、小学校での英語活動の目的と意義に沿った指導案を作成し、グループによる指導実践ができるようになる。							
到達目標	児童英語教育の基礎知識を活かし、グループでの小学校での英語活動指導を行うことができる。グループでの指導案作成、教材作成、模擬授業の準備の過程と、相互評価と講評による振り返りを通して、基礎的な教案作成力、授業での指導力が身につく。児童の認知発達や特性を考慮した指導案の作成と指導案に沿った適切な教材、教具の作成ができる。自らの指導を検証、評価し改善する経験を積む。							
評価方法	①出席時の授業参加姿勢 (40%)、②教案・教材作成 (20%)、③模擬授業 (20%)、④期末課題 (20%) の比率に基づいて総合的に評価する。							
評価基準	①リアクションペーパー、授業内のすべての活動に対する前向きな取り組み、ことにグループワーク等への参加、協力、主体的に関わる姿勢を評価する。②児童の特性を考慮したコミュニケーションペーパー作成を評価する。③適切な teacher talk の使用、アクティビティ運用のスムーズさ、準備と練習の成果を評価する。④学内 SNS 「みんなの広場」での省察の蓄積が生かされた内容で、具体的な改良改善提案があるかを評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	児童英語教育とは これまでの学習内容と前提知識の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 2 を読み、リアクションペーパー作成
3	児童英語教育の背景となる発達理論	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
4	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
5	コミュニケーション能力の育成 Communicative Language teaching の観点から	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
6	これまでの英語教育とこれからの英語教育	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
7	学習指導要領と小学校教育における外国語活動の位置づけ	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1①②の概要レポート作成準備
8	小学校における英語活動の特徴	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1①②の概要レポート作成
9	学年 (年齢)・学習経験・子ども特有の要因	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1①②の概要レポート作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	モデル指導案①の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
11	モデル指導案①の実践練習(1) Classroom Englishの効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
12	モデル指導案①の実践練習(2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
13	モデル指導案②の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
14	モデル指導案②の実践練習(1) Classroom Englishの効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
15	モデル指導案②の実践練習(2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
16	指導案作成に向けて：言語材料の選び方	指導実践、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
17	指導案作成に向けて：言語材料のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
18	指導案作成に向けて：言語活動のポイント	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
19	指導案作成に向けて：言語活動のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
20	グループでの指導案作成	グループワーク	発表準備 SNSでの省察
21	グループでの教材・教具作成	グループワーク	発表準備 SNSでの省察
22	模擬授業発表(1)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
23	模擬授業発表(2)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
24	模擬授業発表(3)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
25	模擬授業発表(4)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
26	模擬授業発表(5)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
27	模擬授業発表(6)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
28	模擬授業発表(7)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
29	模擬授業発表(8)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
30	振り返りとまとめ	講義、講評、 グループワーク	期末課題準備・作成

テキスト	1. 文部科学省『Hi! Friends ①』『Hi! Friends ②』テキストおよび指導編(東京書籍) 2. 文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』(東洋館出版)
参考書	上智大学CLTプロジェクト編『コミュニカティブな英語教育を考える』(アルク)
履修条件、 前提科目	この授業の履修には「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」のいずれかを修了していることを条件とする。
その他 特記事項	イングリッシュフレンド・サービスラーニング活動への参加を原則とするため、この科目を履修する学生は、木曜日の午前中は他の授業を履修することはできない。

科目名	EDU301: 児童英語教育演習 B					担当教員	狩野 晶子	
開講期	秋	開講時限	月 1・2 限	研究室	4203	オフィスアワー	P.16 を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	連絡先		
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑥, 5-②	
キーワード	児童英語教育、言語習得、模擬授業、サービスマーケティング活動、アクティブラーニング							
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案を作成し、模擬授業を行う。あわせてサービスマーケティング枠で行うイングリッシュ・フレンド活動に参加し授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。							
達成目標	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつける。サービスマーケティング活動での実践の機会を活用して、小学校での英語活動の目的と意義に沿った指導案を作成し、グループによる指導実践ができるようになる。							
到達目標	児童英語教育の基礎知識を活かし、グループでの小学校での英語活動指導を行うことができる。グループでの指導案作成、教材作成、模擬授業の準備の過程と、相互評価と講評による振り返りを通して、基礎的な教案作成力、授業での指導力が身につく。児童の認知発達や特性を考慮した指導案の作成と指導案に沿った適切な教材、教具の作成ができる。自らの指導を検証、評価し改善する経験を積む。							
評価方法	①出席時の授業参加姿勢 (40%)、②教案・教材作成 (20%)、③模擬授業 (20%)、④期末課題 (20%) の比率に基づいて総合的に評価する。							
評価基準	①リアクションペーパー、授業内のすべての活動に対する前向きな取り組み、ことにグループワーク等への参加、協力、主体的に関わる姿勢を評価する。②児童の特性を考慮したコミュニケーション型の授業案かを評価する。③適切な teacher talk の使用、アクティビティ運用のスムーズさ、準備と練習の成果を評価する。④学内 SNS「みんなの広場」での省察の蓄積が生かされた内容で、具体的な改良改善提案があるかを評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	児童英語教育とは これまでの学習内容と前提知識の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 2 を読み、リアクションペーパー作成
3	児童英語教育の背景となる発達理論	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
4	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
5	コミュニケーション能力の育成 Communicative Language teaching の観点から	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
6	これまでの英語教育とこれからの英語教育	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
7	学習指導要領と小学校教育における外国語活動の位置づけ	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1①②の概要レポート作成準備
8	小学校における英語活動の特徴	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1①②の概要レポート作成
9	学年 (年齢)・学習経験・子ども特有の要因	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1①②の概要レポート作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	モデル指導案①の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
11	モデル指導案①の実践練習(1) Classroom Englishの効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
12	モデル指導案①の実践練習(2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
13	モデル指導案②の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
14	モデル指導案②の実践練習(1) Classroom Englishの効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
15	モデル指導案②の実践練習(2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
16	指導案作成に向けて：言語材料の選び方	指導実践、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
17	指導案作成に向けて：言語材料のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
18	指導案作成に向けて：言語活動のポイント	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
19	指導案作成に向けて：言語活動のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
20	グループでの指導案作成	グループワーク	発表準備 SNSでの省察
21	グループでの教材・教具作成	グループワーク	発表準備 SNSでの省察
22	模擬授業発表(1)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
23	模擬授業発表(2)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
24	模擬授業発表(3)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
25	模擬授業発表(4)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
26	模擬授業発表(5)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
27	模擬授業発表(6)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
28	模擬授業発表(7)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
29	模擬授業発表(8)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
30	振り返りとまとめ	講義、講評、 グループワーク	期末課題準備・作成

テキスト	1. 文部科学省『Hi! Friends ①』『Hi! Friends ②』テキストおよび指導編(東京書籍) 2. 文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』(東洋館出版)
参考書	上智大学CLTプロジェクト編『コミュニカティブな英語教育を考える』(アルク)
履修条件、 前提科目	この授業の履修には「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」のいずれかを修了していることを条件とする。
その他 特記事項	イングリッシュフレンド・サービスラーニング活動への参加を原則とするため、この科目を履修する学生は、木曜日の午前中は他の授業を履修することはできない。

科目名	EDU206: 児童英語指導者養成講座					担当教員	杉村 美佳	
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4220	オフィスアワー	P.16を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4,5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑥, 5-②	
キーワード	児童英語教育、小学校英語活動、言語習得、英語教授法、レッスンプラン							
授業の概要	小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定による「小学校英語指導者資格」の取得を目指し、児童英語指導者として求められる基礎的な知識と模擬実践経験を得る。子どもの言語習得理論、児童心理学、認知発達理論など、指導者として必要な理論の基礎を学び、児童英語指導者に求められる英語力を身につけるためのトレーニングを行う。実践を想定した模擬授業を通して授業スキルやレッスンプランの書き方を体得する。							
達成目標	児童英語教師として小学校での英語指導や指導補助を行うことを目指し、児童英語に関する基礎知識、教授技術の基本を理解し、英語のみでの指導が行える指導技術と英語力を習得することを目標とする。							
到達目標	①児童英語指導者に必要な英語力の体得に加え、言語習得理論や児童心理、認知発達理論等、児童英語教育の理論の基礎を習得する。②レッスンプランを作成し、アクティビティを実践することを通して、効果的に児童への指導が行えるようになる。③小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)の認定による「小学校英語指導者準認定資格」の取得を目指す。							
評価方法	小課題・ノート提出(30%)、英文法小テスト(30%)、アクティビティ発表(10%)、レッスンプラン作成(30%)							
評価基準	小課題・ノート提出：通信講座の振り返りチェックを行っているか。 英文法小テスト：通信講座『英語力トレーニング』確認テストのスコア アクティビティ発表：レッスンプランに即して講義で学んだ教授技術を実践に生かすことができたか。 レッスンプラン作成：作成手順に即し子どもの発達に合ったプランになっているか。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	児童英語教師とは	講義、グループワーク、DVD視聴	『基礎知識1』Week1,2の予習、振り返りチェック
2	子どもと英語—児童英語教育の意義・目的	講義、グループワーク、DVD視聴	『基礎知識1』Week3の予習振り返りチェック
3	児童心理学(1)—幼児期の心理—	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week4の予習
4	児童心理学(2)—児童期の心理—	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week4の予習振り返りチェック
5	言語習得論	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week5の予習振り返りチェック
6	認知発達理論	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week6の予習振り返りチェック
7	バイリンガル教育	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week7の予習振り返りチェック
8	国際理解教育	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week8の予習振り返りチェック

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	小学校英語活動の位置づけ(1) — 小学校における「外国語活動」の目標と内容 —	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week1の予習
10	小学校英語活動の位置づけ(2) — 小学校における「外国語活動」の留意点 —	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week1の予習振り返りチェック
11	小学校英語活動の意義と課題	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week2の予習振り返りチェック
12	小・中・高の連携	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week3の予習振り返りチェック
13	求められる英語活動指導者とは	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week4の予習振り返りチェック
14	代表的な英語教授法・指導法(1) — 教授法と指導法の基礎知識 —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week5の予習
15	代表的な英語教授法・指導法(2) — 代表的な指導法 —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week5の予習振り返りチェック
16	クラスルーム・イングリッシュ	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』Week13~15の予習
17	語彙力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』Week16~18の予習
18	パラフレーズ力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』Week19~21の予習
19	状況設定力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』Week22~24の予習
20	カリキュラムとレッスンプラン	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week6の予習
21	教材・教具	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week7の予習振り返りチェック
22	レッスンを構成するアクティビティ(1) — レッスンに適したアクティビティ —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week8の予習
23	レッスンを構成するアクティビティ(2) — 代表的なアクティビティ例 —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week8の予習振り返りチェック
24	レッスンプランの考え方	講義、グループワーク	『レッスンプラン作成ガイド』Week9の予習
25	レッスンプランの書き方	レッスンプランの作成	『レッスンプラン作成ガイド』Week10の予習
26	レッスンプランの作成(1)	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
27	レッスンプランの作成(2)	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
28	アクティビティ発表(1)	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
29	アクティビティ発表(2)	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
30	アクティビティ発表(3)	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習

テキスト	「アルク児童英語教師養成コース」(アルク)で使用するテキスト(基礎理論編、英語力トレーニング編、レッスンプラン編)およびその他のプリント配布物。
参考書	文部科学省『Hi! Friends①』、『Hi! Friends②』(東京書籍)
履修条件、前提科目	アルクの通信講座「アルク児童英語教師養成コース」をベースとする授業のため、同講座を受講することが必須となる(別途費用がかかる)。
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>この授業の終了時には少なくともTOEIC500点以上となるよう努力すること。</li> <li>この授業を取る者は積極的にサービスラーニング活動に参加すること。</li> </ul>

科目名	JPN300: 日本語教育演習					担当教員	宮崎 幸江	
開講期	春	開講時限	月 1・2 限	研究室	4217	オフィスアワー	P.16 を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2 年	連絡先		
DP 及び学修成果	DP 分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑥, 5-①	
キーワード	年少者日本語教育、バイリンガル、JSL カリキュラム、アセスメント							
授業の概要	この授業では、秋学期に日本語教育概論で学んだ外国語としての日本語の教え方を発展させる。学期前半はバイリンガルの言語発達に関する理論を学び、後半は日本国内で日本の学校に通う児童生徒への日本語指導の方法を中心に学ぶ。日本語指導をどのように他の教科学習に取り入れるか、在籍クラスでの教科学習にどのような指導が必要かを JSL カリキュラムの概念にしたがって学習する。							
達成目標	本科目は、バイリンガルの言語発達に関して学ぶことで、成人と年少者の第二言語の習得の違いを理解できるようになり、年少者にあった日本語の教え方を工夫できるようになることを目的とする。							
到達目標	学期末には、日本語指導が必要な児童の認知的な発達レベルを考慮した教科(国語、算数、理科、社会)の授業計画と実践ができるようになる。学習者の日本語のレベルに合わせた言葉の使用や視覚教材の作成、学習者の学びを助ける声かけや説明のくだけ方ができるようになる。							
評価方法	授業への積極参加 10%、カレッジフレンド振り返り 30% 模擬授業 30%、期末課題(教案作成) 30%							
評価基準	授業への積極参加：授業での発言やグループワークへの貢献を評価する。 カレッジフレンド振り返り：活動を客観的に振り返り意味づけができるかを評価する。 模擬授業：授業計画、教案作成、実践のスムーズさ、スキャフォールディングの質を総合的に評価する。 期末レポート：教科学習の内容をよく理解し授業計画がたてられているか、実践可能な教案を作成できるか、使用する言語は学習者のレベルに相応しいものかを評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	年少者日本語教育とは	講義、ディスカッション、質疑応答	秋学期のカレッジフレンドについてまとめる
2	カレッジフレンド1年次の振り返り	グループワーク、発表	振り返り内容を記述する
3	マイノリティと教育	講義、ディスカッション	振り返り内容を記述する
4	外国人児童生徒の教育課題	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読む
5	外国人児童生徒と障害	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読む
6	多文化国家における言語マイノリティと教育ーオーストラリアの言語政策	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読む
7	多文化国家における言語マイノリティと教育ーLOTEのその後	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読む
8	言語マイノリティの子どもの教え方1ー取り出し授業	小テスト、解説、講義	小テスト準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	言語マイノリティの子どもの教え方2 — スキャフォールディング	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読む
10	日本におけるマイノリティの教育 特別の教育課程とは	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読む
11	日本におけるマイノリティの教育 秦野市の場合	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読む
12	こどもの日本語力のアセスメント① 外国人児童生徒のためのアセスメント	講義、質疑応答、実技	ハンドアウトを読む
13	こどもの日本語力のアセスメント② DLAの構造	講義、質疑応答、実技	ハンドアウトを読む
14	こどもの日本語力のアセスメント③ DLA話す	講義、質疑応答、実技	ハンドアウトを読む
15	こどもの日本語力のアセスメント④ DLA読む	講義、質疑応答、実技	ハンドアウトを読む
16	JSLカリキュラム — 開発の背景	講義、質疑応答、ディスカッション	ハンドアウト読む
17	JSLカリキュラム — 国語の教え方	グループワーク、ディスカッション	ハンドアウト読む
18	JSLカリキュラム — 算数の教え方	グループワーク、ディスカッション	ハンドアウト読む
19	JSLカリキュラム — 社会の教え方	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウト読む
20	JSLカリキュラム — 理科の教え方	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウト読む
21	JSLカリキュラムを使ったレッスンプラン作成	グループワーク、ディスカッション	模擬授業準備
22	模擬授業グループ1 模擬授業を観察し、記録をとる	模擬授業分析、ディスカッション	模擬授業準備
23	JSLカリキュラムを使ったレッスンプラン作成	グループワーク、ディスカッション	模擬授業準備
24	模擬授業グループ2 授業観察とディスカッション	模擬授業分析、ディスカッション	模擬授業準備
25	JSLカリキュラムを使ったレッスンプラン作成	グループワーク、ディスカッション	模擬授業準備
26	模擬授業グループ3 授業観察ノートの取り方	模擬授業分析、ディスカッション	模擬授業準備
27	JSLカリキュラムを使ったレッスンプラン作成	グループワーク、ディスカッション	模擬授業準備
28	模擬授業グループ4 科目による教え方の違い	模擬授業分析、ディスカッション	模擬授業準備
29	まとめ カレッジフレンド振り返り	講義、ディスカッション、質疑応答	復習
30	学期のまとめ カレッジフレンド振り返り	期末課題の説明	復習

テキスト	中島和子『バイリンガル教育の方法』(アルク)
その他 特記事項	日本語教育概論を履修済みであることを条件とする。